

2015年度 事業報告書

2015（平成27）年4月1日

）

2016（平成28）年3月31日

公益社団法人 札幌聴覚障害者協会

〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目1-358

札幌市視聴覚障がい者情報センター内

TEL : 011-642-8010 ・ FAX : 011-642-8377

メール : houjinjimukyoku@sadeaf.jp

【2015年度事業実施報告】

はじめに

当法人は、聴覚障害者に対する社会一般の認識を深め、その社会参加を促進するため、聴覚障害者の福祉の増進に関する事業を行ない、もって社会福祉の発展に寄与することを目的とし、定款に掲げる次の事業を行なった。

- (1) 聴覚障害者の福祉向上に関する事業
- (2) 聴覚障害者の生活相談及び生活支援に関する事業
- (3) 聴覚障害者の社会啓発運動に関する事業
- (4) 聴覚障害者の広報・啓発に関する事業
- (5) 聴覚障害者の福祉の増進のための調査及び研究に関する事業
- (6) 聴覚障害者の文化教養・スポーツに関する事業
- (7) 手話通訳者養成事業
- (8) 手話通訳者派遣事業
- (9) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者福祉サービス事業
- (10) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域活動支援センター事業
- (11) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく移動支援事業
- (12) 介護保険法に基づく通所介護事業及び介護予防通所介護事業
- (13) 介護保険法に基づく訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業
- (14) 介護保険法に基づく小規模多機能型居宅介護事業及び介護予防小規模多機能型居宅介護事業（未着手）
- (15) サービス付き高齢者向け住宅の企画・（管理・運営は未着手）
- (16) 聴覚障害者の厚生福利及び相互親睦に関する事業
- (17) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

公益目的事業全体の特徴的なこと

1. 実施している公益目的事業は、全体として滞りなく行なわれた。
2. 公益目的事業を実施する上での課題は、前年度に引き続き人材の確保、事業で求められている力量の育成、待遇面の改善であった。
3. 高齢聴覚障害者（会員）の増加にともない、老後の生活支援ができる事業に着手見込みである。（14のサービス付き高齢者向け住宅事業）
4. 事業の拡充に伴い、それぞれの部署の責任者体制を設け、その下に係り体制を設けた。

運動面の特徴的なこと

1. 全日ろう連の「手話言語法」早期制定意見書採択運動は、1741都道府県区市町村議会で、2016年3月3日に100%採択となった。ろう運動史上も戦後の憲政史上も初の快挙と日本聴力障害新聞に報道されたが、国の手話言語法制定に向けた動きは未だ見えていない。
2. なお、4月1日から障害者差別解消法が施行され、社会的理解の拡大、社会参加の促進にどう活かしていくかが大事になっていくと思われる。
3. 地方自治体レベルでは、「手話条例」が次々と制定されており、2016年4月1日現在で、47自治体が制定しており、ほとんどが、手話の単独条例です。
4. 札幌市は、2016年1月から障がい者手話・情報コミュニケーション促進条例を制定するために委員会を開催し、3月に2回目の委員会を開催した。手話単独条例、情報コミュニケーション条例の二本立てを提案する協会側と情報コミュニケーション条例を提案する側とに大きく意見が分かれている。

詳細は、それぞれの報告を参照してください。

【公1】手話通訳者派遣・手話普及事業

I 手話通訳者の派遣・認定・研修

手話の普及並びに手話通訳者の認定・登録・更新と、聴覚障害者に対する理解を深め、聴覚障害者と健聴者の円滑なコミュニケーションを目的とし、依頼に応じて手話通訳者を派遣した。

1. 手話通訳者派遣事業の実施（札幌市委託事業）

ろうあ者等と健聴者との意思の疎通を円滑にするため、手話通訳者を必要とする場合に派遣した。

期 間：2015年4月～2016年3月（年間）

場 所：札幌市内及び近郊

受 付：手話通訳者派遣室

1) 派遣事業の実績及び近況報告 4,753件 +2,569件 = 総件数 7,322件

年度	2014年度 4,833件					2015年度 4,753件						
	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	取り 消し	確保 不可
計		専通	登通	計			専通	登通				
医療・ 保健	2,911	2,991	821	2,170	3813 :03	3,274	2,905	1,086	1,819	3595 :39	298	125
(内、介護 保険)	464	464	178	286	576: 00	551	448	204	244	459: 05	93	22

司法	94	109	88	21	160: 00	90	98	92	6	146 :05	8	4
教育・ 保育	192	239	41	198	360: 05	214	212	44	168	300 :35	22	15
労働・ 雇用	165	207	50	157	279: 05	194	170	56	114	208 :20	22	27
地域・ 住宅	65	82	19	63	99: 25	61	59	20	39	67: 30	6	2
人間 関係	24	31	13	18	84: 15	37	33	13	20	58: 05	9	4
文化・ 教養	95	200	48	152	569: 35	225	326	72	254	915 :15	47	22
社会 生活	276	367	114	253	663: 55	363	363	135	228	611 :50	55	32
その他	464	607	590	17	362: 45	487	587	582	5	352 :30	9	6
(来所者)	386	386	386			480	480	480				
(電話通訳)	442	442	442			509	509	509				
(TV電話)	73	73	73			82	82	82				
(FAX対応他)	103	103	103			258	258	258				
合 計	4,286	4,833	1,784	3,049	6392 :58	4,945	4,753	2,100	2,653	6255 :49	476	237

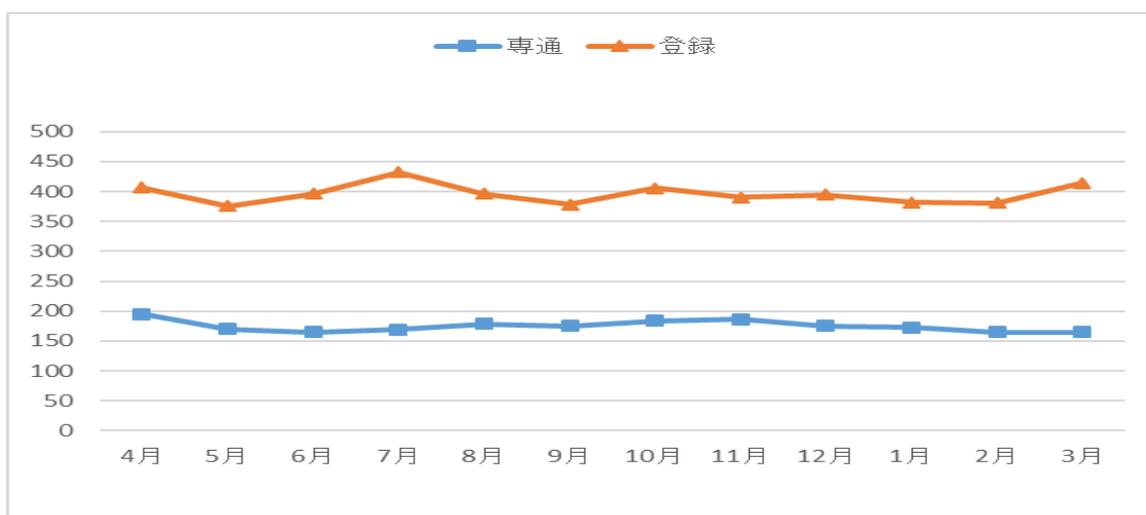
※介護保険の内容：認定調査、ケアマネ訪問、訪問看護、入所者の定期コミュニケーション等。

※「その他」は来所対応が15分を超えた時には依頼件数に含めている。それ以外は下記の通り。

※別表参照

区分	来所者	電話通訳	TV電話	FAX対応他	合 計
2014年度	901	190	520	296	1,907
2015年度	965	227	564	813	2,569

2) 毎月の派遣件数の比較（専従手話通訳者&登録手話通訳者）



3) 手話通訳者状況報告 (2016年3月31日現在)

専従手話通訳者 10名 登録手話通訳者 49名

※資格取得状況 (専通・登通含む)

手話通訳士 31名 統一試験 (手話通訳者) 27名

無資格 1名 →専通採用時に資格取得条件付で確認済。

【手話通訳者養成等運営会議 (派遣)】

- (1) 介護関係の資格取得に関する通訳依頼 (長期) の場合は、聴障者への情報保障 (要約筆記含む) については、事前に受講生や主催側と関係機関とも相談しながら進めてきている。今年度、受講開始後に、急遽、主催側より「通訳保障がないと受講の単位取得はできない」と条件が示され、日常の派遣依頼の多い中、連絡調整もあり通訳者の確保に時間を要し大変であった。本来は、聴障者が資格取得する際には、障壁が取り除かれるように、主催側には配慮してほしいと考える。
- (2) ろう学校卒業後、進学先の授業についての情報保障 (手話通訳等) の配慮について、親より相談があり、その後学校からも問い合わせを受けた。市へも報告し会議でも検討したが、十分な関わりが持てず情報提供に留まった。今後も耳の不自由な児童に対する教育場面の支援等については、関係機関 (当事者も含めて) の検討が必要である。
- (3) 広域派遣では、道内の場合は自治体間の相互協力が定着されてきているが、“住民のみ対象”としている要綱もあり、働きかけが必要である。道外の場合は従来と変わらず、自治体によっては通訳費用の請求があるため、市の派遣事業の説明等、連絡調整に時間を要する。今年度、市より“派遣事業が円滑に実施できるように予算化を検討したい”と提案があったが、具体的な見直しには至っていない。今後の課題である。
- (4) 生活支援を要する聴障者の場合は、個別の支援が異なる。情報保障・環境整備等、通訳行為だけでは終わらないことが多く、通訳者の対人援助スキルが求められている。派遣事業としては、各専門機関や関係者との連携も重要であり、依頼も増えている。通訳者としては、聴障者の理解力 (手話・日本語) や環境・条件等を配慮するため、通訳現場では瞬時の判断力が求められる。
- (5) 手話通訳派遣業務に新たにパソコンのシステムを導入し、受付業務を中心に進めているが、システムの不具合や修正作業が繰り返されている。未完成のソフトについては徐々に整備される予定であり、引き続きデータ管理・統計分析・資料化等、コーディネート業務全般の合理化を目指し、業務改善に努めたい。

2. 手話通訳者認定・登録・更新の実施

1) 二次試験 (面接試験)

札幌市登録手話通訳者を認定するための面接試験を実施した。

期 日：2015年4月4日 (土)

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2014年度一次試験 (手話通訳者全国統一試験) 合格者及び手話通訳者全国統一試験又は手話通訳士試験の合格者

<登録申込状況>

(単位：人)

区 分	2014年度合格者	市外より転入	在札有資格者
統一試験	1	1	0
手話通訳士	0	1	1
合 計	1	2	1

2) 一次試験（手話通訳者全国統一試験）の実施

手話通訳者として必要な知識及び技能を審査するため、筆記及び実技試験の問題、採点基準及び具体的実施方法などについて(社福)全国手話研修センターから提供を受け、全国統一試験を実施した。

期 日：2015年12月5日(土)

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2013年度以前の手話通訳者養成課程修了者、または手話通訳者養成課程修了者と同等の知識及び技術を有する者

※合格発表：2016年3月10日(木)

<受験者及び合格者状況>

(単位：人)

区分	2014年度			2015年度			
	申込数	受験者数	合格者数	申込数	受験者数	合格者数	合格率
2014年度養成講座受講者				12	12	1	8.3%
2013年度以前 養成講座修了者	18	16	1	10	9	0	0%
そ の 他	1	0	0	1	1	0	0%
合 計	19	16	1	23	22	1	4.5%

※2014年度は養成講座が2年課程となったため、受験対象者となっていない。

3) 登録手話通訳者状況

(単位：人)

項 目	年 度		
	2013	2014	2015
登録手話通訳者数	51	53	49
常勤・非常勤の仕事あり	32	28	35
通訳者自身の病気療養（育児・家族の介護）あり	9	10	12
平日の日中活動可能	17	15	11

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

- (1) 登通の稼働状況は昨年度と同様、全体の25%（12名）は年間通して稼働できない方もいる。コーディネート業務では、登通の動向を把握して、個々の健康管理を留意し対応している。だが、今年度は医師を招いての“健康学習会”への参加者が減り、通訳者の健康問題への関心が薄れている現状に、危機感を持っている。今後も個々及び通訳者集団の中で気づき、学び合う場として研修会の必要性を求めていきたい。
- (2) 今年度は、登通への“交通費と通信費”は委託事業費の関係で変更となり、請求に関して周知する中で、登通全員の理解を得るまでに時間を要した。特に、通信費の支払いについては、登通の意見も市へ伝え相談しながら対応し整理することができた。
- (3) 市内には、未登録の有資格者（士・者）が10数名おり、市及び当協会の

登録を呼びかけしているが、現状では申し出が少ない。北海道や札幌で手話通訳活動をする中で、地域の派遣制度を支えてほしいと願い、今後も働きかけを継続していく。

3. 札幌市・札幌協手話通訳者現任研修会の開催

2015年度より、札幌市手話通訳者と札幌協手話通訳者合同の現任研修会とし、手話通訳者の資質・技術の向上及び情報交換などを行なうため研修会を開催した。

期 間：2015年4月～2016年3月(月1～2回・全16回)

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：札幌市専従手話通訳者・札幌市登録手話通訳者・札幌協登録手話通訳者

講 師：実技及びロールプレイ・事例研修等については、札幌市ろうあ者相談員(2名)と担当専通が協議をして担当する。

(内、◆合同(市・札幌協)の研修、◇札幌協のみの研修)

研 修 内 容	月 日	出席者数
1) 札幌市・札幌協手話通訳者派遣事業に関する説明会 ◆	2015年4月1日	56名
2) 手話通訳に必要な現場対応力を考える ◆	4月28日	26名
3) 事例研修① …登通・専通の通訳現場の再現学習 ◆	6月29日・30日	35名
4) ロールプレイ① …6月事例研修を受けて学習 ◆	7月27日・28日	38名
5) 模擬通訳 …教育場面の聞き取り通訳 ◇	8月25日	15名
6) 登録手話通訳者懇談会 …札幌市&札幌協同席	8月27日	27名
7) 事例研修② …登通・専通の通訳現場の再現学習 ◆	9月28日・29日	35名
8) 司法研修「最近の裁判員裁判について司法場面での手話通訳の問題点」講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺修氏 ◇	10月24日	33名
9) 司法研修「実技研修」弁護士の接見、公判における弁護士尋問等 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺修氏 ◇	10月25日	23名
10) 健康学習会 …特殊健康診断結果を受けての学習 講師：若葉金三氏(勤医協札幌病院 医師)	10月27日	8名
11) ロールプレイ② …9月事例研修を受けて学習 ◆	11月24日・25日	28名
12) 翻訳・模擬通訳 …電話通訳、政見放送他 ◆	2016年 1月25日・26日	28名
13) 出張報告 ◆	2月23日	20名
14) 講演「手話言語条例制定推進事業から学ぶこと」講師：豊橋技術科学大学教授 加藤三保子氏 ◇	3月5日	39名
15) 「通訳技術・統一試験活用」 ◆	3月25日	29名

2015年度 コミュニケーション支援課 出張一覧

研 修 内 容	人 数	月 日
1) 講師リーダー養成研修会カリキュラム北海道ブロック 【手話奉仕員】	(札幌市) 2名	6月6日～7日
2) 聴覚障害者関係施設等新入職員研修会	(京都府) 1名	6月22日～24日

3) コミュニケーション支援担当者研修会 (京都府) 2名	7月8日～10日
4) 2015年度手話通訳者全国統一試験説明会 (京都府) 1名	7月25日
4) 第48回全国手話通訳問題研究集会 ～サマーフォーラムinみえ～ (三重県) 1名	8月21日～23日
5) 聴覚障害者の精神保健福祉を考える研修会2015 聴覚障害者の発達障害と適応障害 ～障害への理解と支援のヒント～ (東京都) 2名	8月29日
6) 第41回全道ろうあ者相談員第38回全道専任手話通訳者研修 レポート提出「高齢ろうあ者の暮らしを支援する地域を目指して ～社会資源は市民の理解より広がる～」(札幌市) 5名	10月15日～16日
7) 講師リーダー養成研修会カリキュラム北海道ブロック 【手話通訳者】 (札幌市) 1名	2016年 1月23日～24日

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

今年度から合同（札幌市・札幌協）研修会を開催し、通訳現場に於ける対応力をアップする為の情報、知識をお互いに学び合えるようにと企画してきた。研修会の内容は日常の派遣事業の事例を基にした事例研修やロールプレイ等を行い、経験年数も違う通訳者同士がお互いに刺激を受け学習することができた。

但し、健康学習会の参加者が減少しており、特殊健康診断を活かした個と集団としての健康づくりを意識していくことが必要である。

4. 札幌市登録手話通訳者認定証授与式他・新登録手話通訳者研修会の開催

認定証授与式終了後オリエンテーションの中で「札幌市登録手話通訳者派遣事業実施要綱」の確認、派遣の流れ、報告書の書き方、そして、派遣よりも先に開始する研修について説明を行なった。手話通訳者に対し、医療や教育等の専門分野で求められている知識と技術について研鑽する機会を設けることにより、あらゆる場面での確かな手話通訳ができるよう資質の向上を図る研修を開催した。

期 間：2015年4月～5月（新登録研修3回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2015年札幌市登録手話通訳者に認定された者

1) 新登録手話通訳者状況

区 分	2014年 一次試験合格者	市外より転入	在札有資格者	合計
新登録者数	1名	2名	1名	4名

2) 研修会等の内容及び日程

研修内容	月日
認定証授与式・事業説明会 通訳士や通訳経験者と意見交換をし、通訳の基本等再確認した。	4月21日
研修会 1) 「報告書の書き方...通訳行為の振り返り等の確認と意見交換	4月30日
研修会 2) 「模擬通訳」...対象者にわかる通訳保障のあり方を学習し、実際に通訳をして理解を深めた。	5月15日
研修会 3) 「経験交流」...通訳時の悩みを話し合い、高齢ろう者の配慮	5月22日

や先輩通訳者の経験を学ぶ。ろう講師の協力を 得て励ましを受ける貴重な時間となった。
--

5. 札幌市手話通訳者の頸肩腕症候群等を防止する健診の実施

期 間：2015年7月～8月

場 所：勤医協札幌病院

対象者：登録手話通訳者・専従手話通訳者（年2回・2016年2月結果は含まず）

1) 受診状況

健診対象者	60人	受診者数	47人	受診しない数	13人
-------	-----	------	-----	--------	-----

2) 診断結果

A（異常なし）	6人	C 1（要受診）	2人
B 1（要観察）	26人	C 2（要受診・業務対策）	0人
B 2（要注意）	13人		

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

登通の結果は“維持”か“改善”が多く、“悪化”は減少しているが、通訳者の高齢化と家族介護等の実態も影響し昨年同様に深刻である。“要受診C 1”の方には医師の受診を勧め、個別の対応としては、家族介護のため長期稼働を休止、勤務状況等の配慮をしている。2名の方とは日頃連絡を取り把握に努めている。昨年度に比べると、健診を希望しない方が増えており、中には、業務多忙のため日程調整ができない有職者もいる。

専通は2回の特健を受け健康管理を行っているが、2月の結果では“C 1”が1名おり、時間外業務や分担内容を考慮している。

6. 医療手話通訳者派遣事業の実施（勤医協札幌病院委託事業）

専任手話通訳者を勤医協札幌病院へ常勤派遣し、内科、外科、整形外科、眼科等総合病院で外来診察及び入院治療等を受けているろうあ患者と医師及び看護師とのコミュニケーションの円滑化のため手話通訳業務を行なった。

期間：2015年4月～2016年3月（年間）

業務時間：月・火・水・木・金 9時～15時

第1・3土曜日 9時～12時30分

場所：勤医協札幌病院

手話通訳者：専任手話通訳者3名・代替手話通訳者6名

1) 実績及び状況報告

①来院者数及び住居区数（月別）

（単位：名）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来院実数	93	73	101	108	91	78	93	107	128	110	78	96	1156
白石区	18	23	21	18	21	11	24	25	54	35	17	15	282
厚別区	21	10	17	20	18	18	14	19	19	15	16	25	212
東区	24	18	23	35	24	24	18	26	25	28	20	23	288
豊平区	18	7	16	11	17	7	13	11	7	10	11	16	144

北区	4	5	14	8	4	7	13	17	8	4	9	7	100
西区	1	6	4	9	4	2	4	4	7	15	3	3	62
南区	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	4
中央区	3	2	3	3	2	5	2	1	1	0	0	0	22
手稲区	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
清田区	0	1	0	1	0	2	1	0	1	1	0	3	10
札幌市外	4	1	3	3	1	2	2	2	5	2	2	4	31

②患者及び新患者の状況

患者数	93	73	101	108	91	78	93	107	128	110	78	96	1156
内、新患者数	4	1	2	2	0	1	2	3	2	0	0	0	17

③来院者数状況（年間）

（単位：名）

区分	2014年度			2015年度		
	来院者数	(内、来院患者数)	(内、新患者数)	来院者数	(内、来院患者数)	(内、新患者数)
通訳件数	736	723	13	712	695	17

④年代及び性別の状況

（単位：名）

区分	19才以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80才以上	合計
男性	2	3	3	30	42	200	149	117	546
女性	0	7	9	63	47	266	197	21	610
合計	2	10	12	93	89	466	346	138	1156

⑤来院者の受診科他別状況（年間）

（単位：件）

受診科	通訳件数	受診科	通訳件数	受診科	通訳件数	合計
内科	542	眼科	234	手術	2	
整形外科	200	外科	63	検査	146	
耳鼻科	107	神経科	41	その他	256	
産婦人科	24	労衛科	10	(内、電話通訳)	47	
小児科	4	健診	109	(内、受付等通訳)	105	1738

⑥入院患者数及び受診科別状況（年間）

（単位：件）

区分	入院患者数	通訳件数				合計
		手術	病棟	病棟外診察	その他	
件数	8	4	74	10	4	92

通訳件数は昨年に比べてほとんど変化はないが、重複障害患者も多く、又、患者の高齢化に伴い手話通訳に加えて支援が必要なケースが増え、一人一人の対応に時間がかかった。また、家族・施設職員・ヘルパー・ろうあ者相談員等の同行が必要な患者が増加しているため、関係機関と連携して支援するケースが増加した。

7. 札幌聴覚障害者協会手話通訳者派遣事業の実施（独自事業）

札幌市手話通訳者派遣事業実施要綱に適用しない行政、企業、司法機関、団体等からの依頼に基づき、手話通訳者を派遣した。

期 間：2014年4月～2015年3月（年間）

場 所：札幌市内及び近郊

受 付：手話通訳者派遣室

1) 派遣事業の実績及び近況報告

年度 区分	2014年度					2015年度						
	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	依頼 件数	派遣人数			派遣 時間	取り 消し	確保 不可
		計	専通	登通			計	専通	登通			
企 業	34	48	13	35	67:50	36	47	16	31	66:15	4	0
司 法	34	47	31	16	110:30	22	30	26	4	57:50	1	0
内 弁護士	1	2	1	1	4:20	2	2	1	1	1:15	0	0
内 警察署	23	35	20	15	95:40	4	6	3	3	10:35	0	0
内 検察庁	2	2	2	0	2:25	4	7	7	0	28:40	0	0
内 裁判所	0	0	0	0		4	6	6	0	8:20	0	0
内 刑務所	8	8	8	0	8:05	8	9	9	0	9:00	1	0
各種集会関係	87	178	14	164	334:20	81	150	18	132	404:20	10	1
内 社会生活教室	28	54	0	54	114:25	26	49	1	48	105:40	1	1
大 学	3	10	5	5	25:40	1	2	2	0	9:50	0	0
組 合	16	29	0	29	78:20	17	26	0	26	56:30	1	0
政 党	11	17	5	12	25:40	3	6	0	6	11:30	0	0
放 送 局	12	16	15	1	23:15	12	16	15	1	23:40	0	0
そ の 他	37	74	27	47	169:28	53	83	46	37	147:35	1	0
合 計	234	419	110	309	835:03	225	360	123	237	777:30	17	1

(1) 各分野の状況報告

- ①各種集会関係の派遣が最も多く、今年度は国の動き（法案等）もあり、関連集会の開催があったことや、資格取得及び業務のスキルアップに関する研修会にも集中して派遣した。
- ②司法関係は、市の派遣とは違い予算のある依頼（刑事訴訟等）が、今年度は件数が減少している。政党関係では、昨年度より依頼が減少したのは、国政選挙がなかったことによる。また、統一地方選挙（北ろう連からの要請）への通訳協力（通訳士の調整等）をした。
- ③企業関係は、聴障者を雇用している事業主より、定期的な個別面談や研修等の依頼がある。今年度、新規の通訳依頼も数社ある。

- (2) 札幌協派遣事業は営利目的に実施しておらず、依頼に於いては、内容を確認し対応している。今年度は、雇用専門機関と派遣方法について再度相談を行い、通訳の配置・役割等について理解を求めながら対応をした。

2) 手話通訳者状況報告 (2016年3月31日現在) (単位：名)

	2013年度	2014年度	2015年度
専従手話通訳者	9	10	10
登録手話通訳者	93	93	99
(内、市登録手話通訳者)	(48)	(41)	(50)
(内、当該年度養成講座修了者)	(5)		(7)

8. 札幌聴覚障害者協会登録手話通訳者現任研修会の開催

2015年度より、札幌市手話通訳者と札幌協手話通訳者合同の現任研修会とし、手話通訳者の資質・技術の向上及び情報交換などを行なうため研修会を開催した。

期 間：2015年4月～2016年3月（年間18回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：札幌聴覚障害者協会登録手話通訳者

(札幌市派遣事業と合同の現任研修は【公1】手話通訳者派遣・手話普及事業に記載)

研修内容	月日	出席者数
1) 模擬通訳 ・・教育場面の聞き取り通訳	8月25日	15名
2) 司法研修「最近の裁判員裁判について司法場面での手話通訳の問題点」講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺修氏	10月24日	33名
3) 司法研修「実技研修」弁護士の接見、公判における弁護人尋問等 講師：甲南大学法科大学院教授 渡辺修氏	10月25日	23名
4) 講演「手話言語条例制定推進事業から学ぶこと」講師：豊橋技術科学大学教授 加藤三保子氏	3月5日	39名

(自主研修のため出欠連絡、交通費の支給はない)

手話通訳者会議（自主）	月日	出席者数
1) テーマ 医療・教育	6月9日	12名
2) テーマ 労働・社会生活	10月13日	7名
3) テーマ 講演会・式典	2月22日	10名

- ①2014年度から、専通が司会進行する形で普段の通訳活動を通して、悩んだこと聞いてみたいこと等を持ち寄り自主的に学習する場として、自主研修会を行ってきた。2年目となった今年度は、手話通訳者会議と名称を改め具体的な通訳現場の事例を基に意見交換し課題の整理をする場として3回実施した。
- ②4年間連続しての司法研修会は、1日目は一般公開とし、裁判員裁判について司法場面での手話通訳の問題を学んだ。手話学習者、弁護士、市外からの参加者も多く好評だった。2日目は実技研修として、弁護士、札幌協支部会員の方にも協力をいただき、“弁護士の接見”“公判における弁護人尋問”等の場面通訳の実技研修を行った。
- ③加藤三保子氏を招いての研修会では、2015度は全国の情勢（各自治体での手話言語法の制定を求める意見書の採択の動き）や札幌市の手話言語条例の検討委員会の動きを踏まえ、「手話言語法制定推進事業から学ぶこと」をテー

マに学習した。手話言語法の制定は聴覚障害者の人権を守るという事を再認識できた。アンケート結果からも大変好評であったことが分かった。

II 手話通訳者養成講座の開催

1. 手話通訳者養成講座事業（札幌市委託事業）

1) 2015年度手話通訳者養成事業の開催

手話による日常会話が可能な手話技術を有する市民を対象に、通訳技術の習得及び聴覚障がい者とのコミュニケーションを図り円滑な社会生活に寄与するため必要な知識の習得を目的に、聴覚障がい者に対する理解を深め手話通訳者を目指す者を養成する講座を開催した。

テキストが新しくなり、これまで手話奉仕員養成基礎課程の後半部分にあった手話の特徴を学ぶ講座が通訳Ⅰ課程に加わり、文章を読んで、話を聞いて、手話を見ての要約、読み取り通訳・聞き取り通訳・場面通訳練習が通訳Ⅰ課程とⅡ課程にそれぞれ盛り込まれて全体の回数が増え2年間で実施している。

2014年度クラス(2年目)は、通訳Ⅱ課程および実践課程と試験に向けたレベルアップのための特別講座(1回)を開催した。また、2015年度クラス(1年目)は、通訳Ⅰ課程が終了し通訳Ⅱ課程からは、手話通訳者全国統一試験を視野に入れ講義内容を工夫し実施している。

期 間：2014年度クラス2年目 2015年4月3日～11月18日(36回)

2015年度クラス1年目 2015年5月14日～16年3月30日(45回)

※講座は2016年11月16日まで行われるが、この総括からは割愛した。

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

①定員・受講者及び修了者の状況

(単位：名)

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2013年度	30	23	18	13	72%
2014年度	15	19	15	11	73%
2015年度	15	16	15	継続中	継続中

②実技 68回(内、通訳Ⅰ課程32回、通訳Ⅱ課程30回、実践課程6回)

《1》2014年度クラス(2014～2015年度・2年目)

(ア) 通訳Ⅱ課程

月日	内容
4月3日～4月15日	第7～9講座 読み取り
5月8日～5月27日	第10～13講座 聞き取り通訳
6月10日～9月9日	第14～27講座 場面通訳・事例検討
9月16日～10月2日	第28～30講座 ロールプレイ

(イ) 通訳実践課程

月日	内容
10月7日～11月11日	第1～6講座 通訳実習

講師：6名(札幌協講師4名 専通講師2名)

④理論講義 4回

月日	講義内容	講師
4月22日	聴覚障害児の言語発達	氏家 正章 氏 (北海道札幌聾学校教諭)
6月3日	手話通訳の理念と仕事Ⅱ	渋谷 梯子 専通
9月11日	手話通訳者登録制度の概要	渋谷 雄幸 氏 (札幌聴覚障害者協会理事長)
9月30日	手話通訳者の健康管理	若葉 金三 氏 (勤医協札幌病院医師)

※2015年度から理論講義はより受講生に配慮し、札幌市登録手話通訳者・札幌協登録手話通訳者への公開をやめた。(その代り登通へは講義内容を収録したDVDを貸し出している。)

⑤修了時アンケートの結果から

2年目に入り受講生同士で情報交換もできて、同期として励ましあえる仲間になり、講座も良い雰囲気になったと良い評価が大半だったが、講師の言動に対する指摘もあり、今後はより一層留意が必要と確認した。

手話通訳技術については、読み取りが上達したこと、聞き取りでは意味をとらえて表現することを意識するようになったこと、手話の文法を理解しているがうまく表現できなかったが、できるようになってきた等意見が寄せられた。

≪ 2 ≫2015年度クラス (2015～2016年度・1年目)

(ア) 通訳Ⅰ課程

月日	内容
5月14日～6月24日	第1～7講座 基本文法の復習
7月8日	第8講座 手話通訳の現場から学ぼう
7月15日～8月5日	第9～12講座 身近な場面通訳
8月12日～9月2日	第13～16講座 要約
9月16日～10月14日	第17～21講座 読み取り通訳
10月21・28日	第22・23講座 手話を見て要約
11月11日～12月9日	第24～28講座 聞き取り通訳
2016年1月6日～1月27日	第29～32講座 場面通訳

(イ) 通訳Ⅱ課程

2月3・10日	第1～2講座 話しを聞いて要約
2月17日～3月9日	第3～5講座 手話を見て要約
3月16日～3月30日	第6～8講座 読み取り通訳

講師：13名 (札幌協講師7名 札幌通研講師3名 専通講師3名) 聴講生：1名

④理論講義 5回

月日	講義内容	講師
----	------	----

7月1日	身体障害者福祉概論	唐嶋田 智 氏 (市障がい福祉課在宅福祉係長)
9月9日	手話通訳の心構え	渡辺 聡子 氏
11月4日	ソーシャルワーク概論	中村 和彦 氏 (北星学園大学講師)
12月16日	手話通訳の理念と仕事 I	菅原 美樹 専通
2016年3月4日	ことばの仕組み	加藤 三保子 氏 (豊橋技術科学大学教授)

⑤通訳 I 課程アンケート結果から

手話通訳技術について、聞き取り通訳は文章通りにしか表現できなかったが、手話の特性を活かし表現を考えられるようになり、意味を捉えて位置や空間活用を工夫して表現できるようになってきたこと、読み取り通訳では、手話ニュースを字幕に頼らず手話で理解できるようになった等意見が寄せられた。

2) 手話通訳者養成講座の講師に対する研修及び会議等の実施

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

≪ 1 ≫ 2014年度クラス (2014～2015年度・2面目)

①節会議・評価会議・反省会

区分	節会議	評価会議	反省会
通訳Ⅱ課程	5月28日 8月21日	6月29日 9月3日	10月9日
通訳Ⅲ課程	9月10日	10月29日	11月30日

≪ 2 ≫ 2015年度クラス (2015～2016年度・1年目)

①4月2日 (木) 事業説明会・選抜試験打ち合わせ会

②4月16日 (木) 受講者選考試験・面接試験 (一日目・午前)

4月17日 (金) 受講者選考試験・面接試験 (二日目・夜間)

③7月2日 (木) 講師研修会「指導のポイント (読み取り要約のコツ)」

④2016年2月5日 (金) 講師研修会「指導のポイント (研修会報告)」

⑤節会議・評価会議・反省会

区分	節会議	評価会議	反省会
通訳 I 課程	4月30日 8月6日	9月28日 12月15日	2016年2月16日
通訳Ⅱ課程	2015年1月18日		2016年2月16日

【手話通訳者養成講座講師団】

ろう講師は札幌協、健聴講師は札幌研が推薦する者または専通が講座を担当し、調整して進めた。

全国手話研修センターの講師リーダー養成研修会【手話通訳者】が北海道ブロック会場 (札幌) で開催され、講師に呼び掛け希望者と専通が出張で参加し、学んだ内容を講師研修会で報告した。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

養成講座のカリキュラム見直し後2年目を迎え、初めて2クラス並行して講座を実施した。進捗状況の確認や、統一試験合格者の増加につながる効果的な取り組みを意識して受講生の表現を収録したDVDを配付したり、レポートの評価をその都度行い各課程修了時の評価票を簡素化する等状況報告や意見交換を行った。2016年度も引き続き講師の指導力アップに向け指導案の作成や、講師育成講座の受講等を確認した。また、通訳Ⅰ課程終了時点で仕事や体調の関係で継続が難しくなった受講生について辞退ではなく、次年度の通訳Ⅱ課程から復帰し継続受講できることを確認した。

2. 「2015年度札幌市登録手話通訳者認定試験学習会」の開催(独自事業)

手話通訳者全国統一試験に挑戦する受験者のために読み取り要約に絞って学習会を開催した。

期 間：2015年10月16日（金）11月13日（金）（2回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：受験者及び受験を考えている者

結 果：10月16日31名（内、市外13名）11月13日25名（内、市外12名）

※申込者35名中23名（65.7%）は両日希望者である。（昨年度62.5%から増加）今年度も札幌市内だけではなく、市外からも受験希望の参加者が全体の約半数あった。

※アンケートからは要約が苦手だったが、手話を見るポイントがわかり、まとめることができた。具体的な解説で要約の仕方や考え方がわかり参考になった。また参加したい等好評の感想が多く、統一試験学習会の回数増の要望が複数寄せられた。

Ⅲ 手話奉仕員養成講座の開催

聴覚障害者に対する理解を深め、手話の普及並びに手話奉仕員を目指す者を養成した。

1. 手話講習会（入門）事業（札幌市委託事業）

1) 2015年度札幌市手話講習会の開催

聴覚障害者に対する理解を深めることと、手話で初歩的な日常会話ができることの講習を札幌市内10区会場で開催した。

期間：2015年5月18日（月）～10月30日（月）（21回）

会場：各区民センター（豊平区は月寒公民館・西区は市身障センター）

①定員・受講者及び修了者の状況

（単位：名）

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
定 員	30	35	40	40	35	30	30	30	40	30	340
申込数	48	43	34	31	18	28	22	26	39	19	308
受講者	30	35	38	28	16	27	22	27	39	21	283
修了者	20	33	30	23	14	19	16	20	32	18	225
	定員		応募者数			受講者数		修了者数		修了率	
2014年度	340		278			260		193		74.2%	
2015年度	340		308			283		225		79.5%	

②開講式 5月18日（月） 各区民センター他

③実技（18回）（毎週月曜日）

5月18, 25日	第1・2講座 表現基礎演習
6月1, 8, 15, 22, 29日・7月6, 13日（※6月22, 29日・7月6日のうち1回は理論（出前）講義	第3～8講座 自己紹介
7月27日	第9講座 自己紹介～まとめ～
8月10, 17, 24, 31日・9月7, 14, 28日・10月5, 19日	第10～17講座 話してみましよう
10月26日	第18講座 話してみましよう～まとめ～
10月26日	交流会・感想発表会

講師：札幌協各支部 助手：札幌連加盟手話サークル

④理論講義（出前・合同）（2回）

㉞6月22日（月）中央区・豊平区・手稲区会場

6月29日（月）北区・厚別区・南区会場

7月26日（月）東区・白石区・清田区・西区会場

「手話の基礎知識」

中央区・東区会場

講師 福島太郎氏（札幌協理事）

北区・西区会場

講師 宮内博子氏（札幌協副理事長）

白石区・手稲区会場

講師 高嶋正博氏（札幌協常務理事）

厚別区・清田区会場

講師 若浜ひろ子氏（札幌協理事）

豊平区・南区会場

講師 河村明子氏（札幌協理事）

㉟8月31日（月）市社会福祉総合センター 大研修室

「聴覚障害の基礎知識」 講師 京野大樹氏（札幌協理事）

⑤修了式 10月30日（月）市社会福祉総合センター 大研修室

2) 手話講習会の講師・助手に対する研修及び会議等の実施

①4月6日（月）事業説明会 市視聴覚障がい者情報センター

②4月6日（月）合同講師助手研修会 市視聴覚障がい者情報センター
「奉仕員養成課程のねらい」講師 河村明子氏（札幌協理事）

③4月13日（月）講師助手研修会
「模擬講座」 講師 福島太郎氏（札幌協理事）

④5月11日（月）各区講師助手打ち合わせ 各区民センター他

⑤7月24日（金）講師助手研修会 市視聴覚障がい者情報センター
「模擬講座」 進行 笹森誠二氏（札幌協理事）
講師担当区 豊平 手稲

⑥11月9日（月）各区講師助手反省会 各区民センター他

⑦11月16日（月）全体講師助手反省会 市社会福祉総合センター

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

(1) 障害者（難聴、目の障害）からの問い合わせ、応募あり。また、妊婦（10月出産予定）からの応募もあり。随時、市・協会と相談し、支部にも協力を得られるか相談しながら進めている。

- (2) 理論講義（出前）は、2014年度より各区会場に講師を派遣して行っている。
- (3) 今年度白石区会場の講師が一人もいない状況となり、理事3名が代行した。
- (4) 2014年度より新テキストとなり、付属のDVDを講座の中でも使用しているが、各区で使い方が統一されておらず、また機材の使い方も不慣れな区があり、今後研修が必要である。

2. 中級手話講習会（基礎）事業（札幌市委託事業）

1) 2015年度札幌市中級手話講習会の開催

手話で日常会話を行なうのに必要な手話語彙及び手話表現技術を習得し、聴覚障害、聴覚障害者の生活及び関連する福祉制度などについての理解と認識を深め、地域で活動する人材の育成を図るための講習を開催した。

期 間：2015年5月14日（木）～11月12日（木）（26回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

①定員・受講者及び修了者の状況

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2013年	50	73	50	38	76%
2014年	50	72	50	40	80%
2015年	50	68	50	41	82%

②受講者の住居区分状況

（単位：名）

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
申込者	14	9	7	5	9	5	2	10	6	1	68
受講者	10	7	5	3	6	5	1	7	5	1	50
修了者	7	5	4	3	6	3	1	6	5	1	41

③開講式 5月14日（木）

④実技（毎週木曜日）

月日	内容
5月21日～9月17日	第19～34講座 基本文法
9月24日, 10月1日	第35・36講座 総合練習Ⅰ
10月15日～11月5日	第37～40講座 総合練習Ⅱ

講師：5名（札幌協講師3名 札幌通研講師2名）

⑤理論講座

㊦5月14日（木）「ボランティア活動」 講師：三神 久子 氏
（中級手話講習会担当講師）

㊧7月23日（木）「障害者福祉の基礎」 講師：唐嶋田 智 氏
（札幌市障がい福祉課在宅福祉係長）

㊨10月8日（木）「聴覚障害者活動と聴覚障害者福祉制度」
講師：佐々木八代恵氏・福岡静枝氏・太田利実氏
（中級手話講習会担当講師）

⑥修了式・講評・反省会 11月12日（木）

2) 中級講習会の講師に対する研修及び会議等の実施

会場：市視聴覚障がい者情報センター

- ①4月3日（金）事業説明会
- ②4月6日（月）合同講師助手研修会 「奉仕員養成課程のねらい」
- ③5月8日（金）講師研修会「指導技術」
- ④節会議・評価会議・反省会

内容	日程			
節会議	4月15日(水)	6月10日(水)	7月24日(金)	9月16日(水)
講師反省会	11月26日(木)			

【中級手話講習会講師団】

新テキストになり2年目で慣れてスムーズに進められている。講座の進め方は従来通り、講師がパワーポイントを作成して進めている。

今年度も、「講師リーダー養成研修会（北海道ブロック）（6月6～7日開催）」について各講師へ呼びかけ希望者に参加してもらった。専通も出張で参加した。

今後の講師育成につなげるため聴講生を受け入れていたが、途中で辞退する結果となり課題が残った。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

新テキストになって2年目であり、慣れてスムーズに進められている。開始直後についていけないという受講生が居たが、講師と打ち合わせ、配慮をして進めるようお願いした。全体的に受講生は良い雰囲気を受講できている。毎回の会議で状況報告・確認を行ない、欠席が続いている受講生には電話をかけ状況を確認する等学習についていけない人が出ないように受講生の習熟状況に気を配り丁寧に進めるよう留意したが、中盤から手話技術に差が出る傾向がある。

また、中級手話講習会は地域で活動することが主眼であり、サークル加入状況にも注目しているが、6割がサークルに入っている。併せて行事やサークルに関する情報を提供して参加を促した。

修了時アンケートでは、指導方法について細かな指摘はあったが、概ね良いという結果を得られた。

【情報・コミュニケーション部】

2014年度に引き続き、講師の高齢化に伴い後継者育成が急務である。また講師の資質も課題となっている。2016年度の講師育成講座の受講を広く勧め受講者を増やす必要がある。

<手話講習会について>

2014年度からの新しいテキストに各区の講師は少しずつ慣れてきている。しかし、まだDVD学習の進め方、指導方法には課題がある。今後は講師の資質などがある程度均一であることが必要。

白石区手話講習会講師を担う人がいないため、協会に講師依頼があり、理事の中から3名(笹森、河村、若浜)が務めた。全国的に講師の高齢化、講師を担える人が減少している傾向がある。

<中級講習会>

2015年度に続き、受講申し込みに支部、所属手話サークルからの推薦書を

添付する提案が出され、2016年度も実施する。

＜手話通訳者養成講座＞

講座の期間は2年間だが、1期と2期の開催時期が重なるため、講師の確保がなかなか難しい状況がある。特に講師の資質の向上、後継者育成が必要となる。

＜専門部会議について＞

他の区の状況を把握し情報や意見を出しながら話し合いを行った。各サークル会員の減少が進んでいる。あるサークルは高齢化で札サ連を退会と申し出があった。今後も退会が増える可能性があり、減少をくい止めるため各支部が協力する必要がある。

IV 札幌市手話通訳者養成等運営会議（派遣・養成）

構成：札幌市障がい福祉課・札幌協・札サ連・札通研

期間：2015年4月～2016年3月（月1回開催）時間 19：00～20：45

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	区分	主な内容	人数
1	4月16日	派遣	派遣状況、2015更新結果、統一試験結果、新登通関係	8名
2	5月14日	養成	各講座の申込・選考状況、手話講師育成講座について	13名
3	6月18日	派遣	派遣状況について	9名
4	7月16日	養成	各講座の状況について、統一試験学習会について	12名
5	9月17日	派遣	派遣状況、人事、統一試験について	9名
6	10月15日	養成	各講座の状況、統一試験学習会について、統一試験の申込状況について	12名
7	11月19日	派遣	派遣状況、特健について	9名
8	12月17日	養成	各講座の修了状況、手話講師育成講座の進捗状況	12名
9	2016年 1月21日	養成	2016年度各講座に向けて、手話講師育成講座の修了状況	12名
10	2月16日	派遣	派遣状況、札幌市からの情報提供について	9名
11	3月17日	養成	2015年度各講座の総括、2016年度各講座の進捗状況	12名

【養成】出席者：

札幌市：(障がい福祉課)唐嶋田係長、船山職員(7月迄)、松下主査(10月～)

札幌協：高嶋常務理事、宮内副理事長、若浜理事、中理事、渋谷課長

札サ連：菅原会長、三木副会長、鍛冶会計担当

札通研：高橋広報部長・手塚会計部長

【派遣】出席者：

札幌市：(障がい福祉課)唐嶋田係長、高野職員(4月のみ)、船山職員(6月～9月迄)、松下主査(11月～)

札幌協：渋谷理事長、高嶋常務理事、若浜理事、笹森理事、渋谷課長、金原係長

札通研：高橋広報部長・手塚会計部長

V 手話教室の開催

手話を一般社会に積極的に広め、聴覚障害者に対する理解の輪を大きく広げるために次の事業を行なった。

1. 手話教室事業の開催（独自事業）

1) はじめての手話教室（昼間）

聴覚障害者に対する理解を深めるとともに手話で初歩的な日常会話ができるようにすることを目的とした昼間の手話教室を開催した。

期間：①第29回はじめての手話教室

2015年4月3日（金）～8月28日（金）（20回）

受講人数：受講生10名（うち修了生9名）

講師1名 助手1名

②第30回はじめての手話教室

2015年9月11日（金）～2016年2月5日（金）（20回）

受講人数：受講生10名（うち修了生9名）

講師1名 助手1名

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：手話講習会の経験ない者、初心者

2) フォローアップ手話教室（昼間）

手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」を再度学びなおし、聴覚障害者に対する理解と手話での日常会話技術を深める手話講座を開催した。

期間：①第6回フォローアップ手話教室

2015年9月2日（火）～10月7日（火）（5回）

受講生11名 講師1名 助手1名

②第7回フォローアップ手話教室

2016年2月16日（火）～3月15日（火）（5回）

受講生14名 講師1名 助手1名

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」の修了者

3) 第9回中級手話教室（基礎編）（昼間）

入門講座で習得した日常会話のレベルアップと基本文法の習得を目指し、福祉制度の基礎や聴覚障害者の歴史について学習、全国手話検定試験の受験対策にも対応した昼間の中級手話教室を開催した。

期間：2015年5月13日（水）～12月16日（水）（30回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

受講人数：受講生7名（うち修了生6名）講師1名 補助講師1名

対象：入門課程の修了者または同程度の力量がある者、手話による日常会話や自分の意見考えを表現できる者

4) 第8回レベルアップ手話講座（昼間）

中級手話教室（基礎）修了者を受講対象とし、中級手話講座と手話通訳者養成講座の間に位置する講座として、手話の特徴（7つのポイント）を中心に学び、個々の力のレベルアップを目指す講座を開催した。

期間：2016年1月20日（水）～2月17日（水）（5回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター
 受講人数：受講生7名 講師2名
 対象：手話奉仕員養成カリキュラム「基礎課程」の修了者

5) 2015年度はじめての手話教室（医療編～薬局で働く人対象～）（夜間）
 あいさつや接客及び薬局現場で使う簡単な手話を学習する手話教室を開催した。

期間：2015年7月10日（金）～24日（金）（3回）
 会場：市視聴覚障がい者情報センター
 受講人数：受講生10名 講師1名 助手1名
 対象：調剤薬局関係者

6) 2015年度はじめての手話教室（接客編～銀行で働く人対象～）（夜間）
 銀行での接客用語の手話表現を学び、銀行内での対応ができるようになる手話教室を開催予定だったが、申込数が少なく開催を中止した。

対象：銀行員関係者

7) 2015年度はじめての手話教室（医療編～病院で働く人対象～）（夜間）
 病院の医師・看護師及びスタッフでのあいさつや自己紹介また医療現場で使う簡単な手話を学ぶことで聴覚障害者が少しでも生きやすい、通じやすい環境が広がっていくことを目的とした講座を開催した。

期間：2015年10月23日（金）～11月6日（金）（3回）
 受講人数：受講生7名 講師1名 助手1名
 会場：市視聴覚障がい者情報センター
 対象：病院関係者

【手話普及事業担当】

- ・全体的に申込み人数が少なく、目標数を達成できなかった。
- ・来年度は呼びかけ方法を工夫して、各講座15名以上を目指す。

VI 手話講師の派遣

聴覚障害者に対する理解とコミュニケーション手段としての手話を教え、聴覚障害者に対する社会一般の認識を深めるために聴覚障害者の講師を派遣した。

1. 聴覚障がい・手話啓発事業（独自事業）

期間：2015年4月～2016年3月（年間）
 場所：市内各所（学校、企業等）
 受付：法人事務局

1) ボランティア研修センターからの依頼 20件

年月日	学校名・企業名等	対象	人数
2015年5月27日	北海道尚志学園高等学校	高校1年(2クラス)	63名
6月10日	株式会社北洋銀行	道内各支店職員	45名
6月17日		道内各支店職員	43名

6月23日	札幌市立札幌小学校	小学4年(2クラス)	67名
6月29日	札幌市立美香保中学校	中学1年(2クラス)	54名
6月30日		中学1年(2クラス)	55名
9月10日	札幌市立北都中学校	中学1年	50名
9月10日	札幌市立屯田北中学校	中学1年	34名
10月6日	札幌市立新陵小学校	小学4年	6名
10月16日	札幌市立厚別北中学校	中学1年(2クラス)	68名
11月4日	株式会社北洋銀行	道内各支店職員	40名
11月11日		道内各支店職員	45名
11月20日	札幌市立屯田北中学校	中学3年(4クラス)	152名
11月27日		中学3年(3クラス)	107名
11月25日	札幌市立北栄中学校	中学3年	40名
11月30日	札幌市立東川下小学校	小学5年	55名
12月1日	北海道運輸局	鉄道事業者・ バス事業者など	18名
12月8日	北海道尚志学園高等学校	高校1年(3クラス)	119名
2016年2月17日	札幌市立啓明中学校	中学2年(2クラス)	74名
2016年3月2日	札幌市立清田小学校	小学4年(2クラス)	54名

2) ボランティア研修センター主催手話講座の講師派遣依頼 5件

年月日	講座名	対象	人数
2015年5月19日	手話体験講座①	民間人	30名
6月23日～8月11日	ボランティアのための入門講座	民間人	19名
9月1日	手話体験講座②	民間人	30名
10月6日～11月24日	ボランティアのため入門講座	民間人	20名
8月3日	障がい者講師養成講座	身体障害者	13名

3) 単独依頼 9件

年月日	学校名・企業名等	対象	人数
2015年4月23日	札幌大谷大学短期大学	保育科	20名
5月1日	株式会社りんけい	職員	7名
5月10日			
5月25日	札幌医科大学	医学部1年	110名
6月1日			
6月16日	株式会社CAN(キャン)	農業組合員	29名
8月17日	札幌矯正研修所札幌支所	刑務官	31名
2016年1月5日	札幌市教育センター	教職員	38名
3月14日	札幌矯正研修所札幌支所	刑務官	32名

2. 手話養成普及事業（独自事業）

1) 講師派遣事業

期間：2015年4月～2016年3月（年間）

場所：市内各所

受付：法人事務局

期間・回数	学校名・企業名等	学科名等対象	人数
通年第4木曜日	耳鼻咽喉科麻生病院	院内従事者	10名
通年木曜日	札幌聖心女子学院	中学2年(2クラス)	30名
通年木曜日		中学3年(2クラス)	32名
通年木曜日		高校1年	7名
前期10回	三幸学園 札幌医療秘書福祉専門学校	介護福祉科1年	33名
前期9回	一番街商店街振興組合 レディス会手話サークル	一番街商店街 従事者対象	15名
45分×15コマ	池見歯科衛生士専門学校	歯科衛生士科3年	22名
前・後期	経専学園 北海道観光専門学校	エアライン科1・2年	36名
前・後期		旅行科1・2年	64名
I期(10回)		ホテル科1年	29名
I期(10回)		ブライダル科1年	14名
通年(30回)	経専学園 医療事務薬業専門学校	薬業学科2年	12名
通年(28回)		医療事務学科2年 (4クラス)	55名
前期(15回)	光塩学園女子短期大学	保育科2年(3クラス)	112名
前期(10回)	エス・ワン動物専門学校	全科2年	30名
後期(8コマ)	専門学校日本福祉学院	介護福祉学科2年	15名
後期(15回)	札幌心療福祉専門学校	精神保健福祉科3年	16名
後期・前半×8回	札幌医科大学	看護学科・作業療法学科・ 理学医療学科 1年	45名
後期・後半×8回		看護学科・作業療法学科・ 理学医療学科 1年	43名
後期前半×8回	経専学園	こども学科2年	20名
後期後半×8回	北海道保育専門学校	こども未来学科3年	37名
前期(15回)	さっぽろ市民カレッジ (ちえりあ)	高校生・民間人	15名
後期(15回)		高校生・民間人	13名
前期(8回)	北区民センター手話講座	民間人	15名

【手話普及事業担当】

単発講座の派遣数は昨年度よりやや増えたが、少子化の影響で学生の募集を停止した専門学校があった。同様のケースが増える可能性もあり、今後は様々な学校や企業にアプローチするなど、新規開拓の必要がある。

2) 講師・助手研修会開催

第1回講師・助手研修会

日時：5月26日（火）
 会場：市視聴覚障がい者情報センター
 出席者数：15名（講師7名・助手8名）
 内容：2015年度事業説明会

講師、助手の意見交換を行なった。

第2回講師・助手研修会

日時：2016年2月25日（木）
 会場：市視聴覚障がい者情報センター
 出席者数：15名（講師6名・助手9名）
 内容：手話普及事業の報告

「講師と助手が一体となった理論講義、授業の進め方」
 模擬例を通しての意見交換、講師と助手の関係

【手話普及事業担当】

講師団、通訳者の高齢化で講師・助手を担える人材が足りない状況であり、若手講師の育成、資質の向上が必要である。

3. 第10回全国手話検定試験の実施

*試験会場として実施協力（主催：社会福祉法人全国手話研修センター）

1) 受験者のための学習セミナー開催

日時：2015年9月5日（土）
 会場：市視聴覚障がい者情報センター

	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	合計
受講者	9名	8名	7名	9名	2名 (中止)	1名 (中止)	34名

2) 第10回全国手話検定試験の実施

日時：2015年10月10日（土）5級・4級
 10月11日（日）3級・2級
 10月17日（土）準1級・1級
 会場：市社会福祉総合センター・市視聴覚障がい者情報センター

	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	合計
申込者	55名	51名	86名	56名	28名	18名	294名
受験者	53名	49名	79名	55名	26名	17名	279名
面接委員	4名	4名	12名	14名	8名	4名	46名

3) 第10回全国手話検定試験（団体受験）の実施協力

日時：2015年9月28日（月）5級
 会場：光塩学園女子短期大学

申込者	5級44名	受験者	5級44名	面接委員	4名
-----	-------	-----	-------	------	----

【手話普及事業担当】

- ・『受験者のためのセミナー』の申し込み数が全体的に減少。特に1級は昨年に続き今年も催行人数に達せず開催中止となった。本試験と共にセミナーへの呼びかけも必要である。
- ・札幌市内外の面接委員の協力により開催したが、更新が必要な者や当日都合が見つからない者など、毎年人員調整が困難である。面接委員の増加を図るとともに事前連絡による人員確保に努めたい。
- ・今期はじめて団体受験を開催、受験者全員合格との嬉しい結果もあり、今後他の学校・企業への働き掛けをしていきたい。

VII 手話通訳者育成指導者養成の開催

1. 手話講師育成講座事業（札幌市委託事業）

1) 2015年度手話講師育成講座事業の開催

2014年度に初めて開催したこの講座に市の予算が付き、手話奉仕員と手話通訳者養成事業を担う人材の確保を確実に進めるため、講習技術の向上を図り適切な講習が可能な講師を増やすことを目的として実施した。

①手話奉仕員養成課程

課程	回数	期間	受講者数	修了者数	修了率
入門課程	4回	5月15日～6月5日	37名	17名	45.9%
基礎課程	6回	6月12日～7月17日	30名	5名	16.6%

講師：河村明子, 若浜ひろ子, 菅原美樹, 太田利実, 渡辺聡子, 山田幸雄

②手話通訳者養成課程

課程	回数	期間	受講者数	修了者数	修了率
通訳Ⅰ課程	10回	8月7日～11月27日	30名	5名	16.6%
通訳Ⅱ課程	8回	12月11日～1月15日	30名	5名	16.6%

講師：河村明子, 渋谷雄幸, 若浜ひろ子, 渋谷梯子, 菅原美樹, 山田幸雄

【手話講師育成講座講師団】

ろう講師は札幌協の会員、健聴講師は札幌協登録通訳者で講座の指導経験が豊富な者または専通が担当し、調整して進めた。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

2年目であり、前年度の反省を活かして、入門課程は手話講習会講師助手研修会の対象者と同様にしたことから受講者、修了者共に多かったが、基礎課程、通訳課程は指導書の読みこなし等内容が難しくなることと、平日の夜間という設定から修了者が激減した。予定していた外部講師による理論講義は講師の体調不良により直前に中止となり振り替えることが難しかった。その中でもモニター生には毎回出席していただき、模擬講習への協力をもらったことは有効だった。

将来の講師育成と効果的な講座の実施に向けて、2016年度は土日集中で開催する方法を確認している。

※アンケート結果から

新しいテキストの教え方が理解できた。講座の「ねらいの説明」や「講師と助手の打ち合わせ」が大切なことが分かった。わかりやすくて良かった。回数が少ない、もっと学びたい。模擬講習で実際に指導を経験してみると理解が深まったとの感想があった。

【公2】生活支援事業

I 聴覚障害者支援センターほほえみ

1. 地域活動支援センター事業（札幌市補助事業）（定員：12名×2ヶ所）

聴覚障害者への理解を深める啓発活動を進め、重複及び高齢の聴覚障害者に対する障害者福祉サービスを提供した。

1) 地域活動支援センターほほえみ西

- ・外出機会が少ない高齢ろうあ者、盲ろう者、難聴者などの交流と日中活動を支援
- ・情報がない健聴家族に対しての相談と情報提供（区役所やろう相の紹介）
- ・同じマンション内にある歯科への受診（義歯の破損や急な痛みがあった際の診察同行、重い障害がある仲間の待機負担の軽減）

利用時間：（月～水・金・土 10時～15時）

場所：西区二十四軒4条3丁目4-35 カルチェド札幌108号室

内容：交流・教養及び防災訓練等実施、送迎サービス

①通所者数・月別(延べ人数)

(単位：名)

	15年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	16年 1月	2月	3月
男性	87	97	131	114	111	100	96	107	101	83	92	98
女性	119	109	121	114	88	108	136	127	111	76	84	113
合計	206	206	252	228	199	208	232	234	212	159	176	211

②各区分別・月別(延べ人数)

(単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
男性	1	5	9	3	1	1	0	1	8	4
女性	1	5	6	4	1	0	0	1	6	7
合計	2	10	15	7	2	1	0	2	14	11

2) 地域活動支援センターほほえみ厚別

- ・外出機会が少ない高齢ろうあ者、盲ろう者、難聴者などの交流と日中活動を支援
- ・緊急時の関係各所へ連携（行方不明時のケアマネージャーやろうあ者相談員、介護支援センターおよび通訳派遣室への連絡）
- ・不安や悩みがある家族に対しての相談と情報提供（区役所やろうあ者相談員、ほほえみ事業所の紹介など）

利用時間：（月～水・金・土 10時～15時）

場所：白石区栄通18丁目10-16 ハマナスビル103号

内容：交流・教養及び防災訓練等実施、送迎サービス

①通所者数・月別(延べ人数)

(単位：名)

	15年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	16年 1月	2月	3月
男性	103	104	145	116	111	106	119	110	71	80	72	61
女性	88	95	105	97	75	83	86	72	65	71	73	85
合計	191	199	250	213	186	189	205	182	136	151	145	146

②各区分別・月別(延べ人数)

(単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	北広島	江別市
男性	1	1	4	3	9	1	0	1	2	0	1
女性	0	1	3	5	10	1	1		1	1	1
合計	1	2	7	8	19	2	1	1	3	1	2

3) ほほえみ西・ほほえみ厚別 年間行事報告

(単位：名)

月日	内容	場所	参加者数				合計
			仲間	ボラ ンテ ィア	職員	その他	
2015年 4月23日	ボランティア研修会	ほほえみカフェ	0	14	6	0	20
5月11日	お花見	開拓の村	34	14	6	2	56
6月10日	社会見学	北海道博物館	36	8	6	1	51
7月20日	ほほえみ祭り	身体障害者福祉センター	38	14	7	0	59
8月28日	社会見学	ホクレン工場	28	7	6	1	42
9月11日	カフェ食事会 (ほほえみ西)	ほほえみカフェ	12	0	3	0	15
9月18日	カフェ食事会 (ほほえみ厚別)	ほほえみカフェ	9	1	2	0	12
9月22日	もみ人手作りマーケットバザー	もみじ台管理センター	15	0	3	0	18
10月26日	社会見学	防災センター	23	3	6	0	32
11月11日	社会見学	白い恋人パーク	20	3	6	0	29
11月13日	訪問マジック交流会 (訪問者～7名)	ほほえみ厚別	10	2	2	0	14
11月21日	お楽しみ会	大会議室	31	7	3	3	44
11月27日	マイナンバー学習会	ほほえみ西集会室	19	3	6	1	29
12月12日	神戸出張報告	情報センター1F研 修室	27	3	6	0	36
12月17日	クリスマス会	ほほえみ西集会室	33	9	7	1	50
2016年 2月3日	節分祭	ほほえみ西集会室	29	6	5	0	40
3月25日	日帰り温泉旅行	ながぬま温泉	37	7	6	1	51

4) 2016年度に向けての課題

<ほほえみ西>

・仲間（利用者）の総数は増えているが、高齢化に伴い自力では通えなくなる仲間

間や、送迎を希望する仲間も増えている。送迎などの支援を充実させたり、デイサービスなどへのスムーズな移行ができるよう、事業内での連携を密に行かなければならない。

・日中活動は、どちらかという遊びが中心であるが、物作り（手芸、工作など）が得意な仲間も沢山いるため、バザー品の作成については計画、指導を綿密に行い、売り上げの向上に繋げていきたい。

<ほほえみ厚別>

・仲間（利用者）の高齢化に伴い、介護サービスの利用や転居、他のほほえみ関係の事業所へ通所などの理由により、総数が減少傾向にある。通所者数を増やして行きたい。そのためには、ほほえみ関係の事業所や各区のろうあ者相談員だけではなく、他の関係各所・各団体へご協力をお願いしたい。

・以前の仕事の内容や個人的な趣味などにより、物作りが得意な仲間が多い。ミシンを活用した手芸品や小物作りなど、個々に合った物作りを考えていき、バザー品の製作を行い、売り上げの向上に繋げていきたい。

2. 就労継続支援事業（指定障害福祉サービス事業）

就労継続支援B型事業（定員：35名）

障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業として、聴覚障害者が安心して働くことのできる作業所の運営を行なった。

1) 利用者数

(単位：名)

	15年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	16年 1月	2月	3月
利用者数	36	36	36	36	36	36	34	33	34	35	36	36
延べ利用者数	510	493	543	537	486	487	516	440	481	512	496	531

2) 行事参加状況

(単位：名)

月日	内容	場所	参加者数				
			仲間	ボランティア	職員	その他	合計
2015年年 6月13日 ～14日	一泊旅行in新得	わかふじ寮等見学	20	3	7	0	30
7月20日	ほほえみ祭り	身体障害者福祉センター	19		11	0	30
9月4日	ボウリング交流会 (札幌盲ろう福祉協会)	白石スガイディオス	2	0	1	0	2
9月9日	社会見学	旭山記念公園 円山動物園	16	5	7	0	28
9月26日	ほほえみ設立10周年祝賀会	札幌第一ホテル	27	3	11	0	41
10月4日	札幌ろうあ者文化祭典	身体障害者福祉センター	15		13	0	28
10月24日	白石地区会交流会 (さっされん)	アサヒビール園	5	0	4	0	9

11月11日	防災学習会	千歳そなえる	14	3	6	0	23
11月23日	ほほえみ学習会	情報センター	8	0	4	0	12
2016年 1月9日	鏡開き (白石少年武道教室)	白石中学校武道室	5	0	2	0	7
1月11日	ほほえみ新年会	福祉センター	21	5	7	0	33
1月29日	西地区会新年交流会	身体障害者福祉センター	17	4	4	0	25
2月11日	イエローレシートキャンペーン	イオン元町店	3	0	2	0	5
3月6日	耳の日市民のつどい	かでの2.7	3	0	6	0	9
3月21日	仲間の話し合い	情報センター	22	1	9	0	32

3) 出店バザー

月日	行事名	場所
2015年 4月9日10日	福祉バザー清田	清田区役所
4月26日	盲導犬協会	北海道盲導犬協会
4月29日	ほほえみ後援会総会	市視聴覚障がい者情報センター
5月24日	社員総会	市視聴覚障がい者情報センター
7月19日	高聾祭バザー	北海道高等聾学校
7月20日	ほほえみ祭り	市身体障害者福祉センター
7月26日	ろう教育フォーラム	社会福祉総合センター
8月2日	旭山記念公園夏祭り	旭山記念公園
8月2日	フレンドリーハウス夏祭り	フレンドリーハウス
8月29日	青年部設立50周年記念式典	かでの2.7
8月29日	白石地区会絵画展バザー	教育文化会館
9月11日	花の里夏祭り	花の里
9月22日	もみ人ふれあい祭り	もみじ台管理センター
10月4日	ろうあ者文化祭典	市身体障害者福祉センター
10月8日 9日	福祉バザー清田	清田区民センター
10月11日	夢市場あつべつ	もみじ台管理センター
11月28日	札幌合同研修会	かでの2.7
12月3日 4日	福祉バザー清田	清田区民センター
12月3日～ 9日	豊平郵便局バザー	豊平郵便局
2016年 1月18日～22日	豊平郵便局バザー	豊平郵便局
1月31日	札サ連 研修交流会	市社会福祉総合センター
2月13日	後援会の講演会	市視聴覚障がい者情報センター
2月16日～19日	豊平郵便局バザー	豊平郵便局

3月6日	耳の日市民のつどい	かでの2.7
3月9日 10日11日	サンピアザバザー	サンピアザ光の広場
3月15日～18日	豊平郵便局バザー	豊平郵便局
3月21日	もみ人ふれあい祭り	もみじ台管理センター

4) 委託販売場所

	店名	場所
1	元気ショップ	大通東西線コンコース内
2	元気ショップ「いこーる」	札幌駅西コンコース内
3	工房ぶらり&カフェ	北区
4	SOC株式会社ミキモール	白石区
5	円山動物園	西門オフィシャルステーション内
6	札幌市肢体障害者協会	旭山記念公園
7	札幌市公園緑化協会	旭山記念公園

5) 実習・見学 受け入れ状況

月日	期間	学校名	学年	性別	内容
4月2日～3日	2日間	北海道高等盲学校	2年	男	就業体験
6月26日～7月9日	10日間	北海道高等聾学校	2年	女	就業体験
7月17日	半日	豊浦中学校 (特別支援学級)	3年	3名	就業体験

6) 防災訓練

月日	場所	参加者数				
		仲間	ボラ	職員	その他	合計
2015年 11月11日	千歳防災センター そなえーる	13	3	6	0	22
2016年 3月25日	ほほえみ作業所 デイサービス	0	0	5	0	5

7) 送迎サービス

(ア) 盲ろうの仲間 (自宅⇄各事業所：徒歩・送迎車)

月	15年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	16年 1月	2月	3月	合計
回数	10	16	14	14	8	23	12	18	26	39	26	14	220
職員送迎	3	3	2	2	2	1	1	6	12	11	11	3	57

有償ボランティア	3	7	6	6	2	5	7	4	14	13	15	11	93
家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
送迎車	4	6	6	6	4	17	4	8	0	15	0	6	76

(イ) 事業所間の送迎（地下鉄⇔作業所：送迎車）

月	15年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	16年 1月	2月	3月	合計
回数	351	314	316	314	291	239	284	206	246	216	248	244	3269

8) ほほえみ作業所

さまざまな体験を通して、一人ひとりの持っている力を活かした就労支援を行なった。

作業時間：月～金 9：30～15：30

場所：白石区菊水元町5条1丁目9-8

内容：下請作業・施設外就労・自主製品制作及び販売、送迎サービス、防災訓練等実施

① 下請け・委託作業

包装作業	シール貼り作業【142,382枚】1月に入ってから継続して作業依頼あり。シール貼り作業に挑戦し、継続担当できる利用者が増えた。
施設外就労	企業内での包装作業【24回】 公園清掃作業【8回】
新聞帯封作業	札幌協の新聞と北聴新聞の発行作業
手提げの紐つけ作業	単発委託作業【7,312枚】 短期集中で、利用者全員で出来る作業である。
紙ナプキン折り作業	今年度12月からの下請け作業。

② 授産製品の見直しや工夫による効果

手芸品	消耗品の「台ふきん」が売り上げ増。利用者が選んだカラフル糸が人気である。
粘土製品	「石の上の動物」シリーズの工夫として、ミニ陶器のカップ等に動物をのせ販売。好評により、植物もプラスする等材料費をかけ高品質に努め売上増につなげている。 「円山動物園」で販売しているオリジナル動物の種類を増やしている。
英字新聞の袋	元気ショップでの定期購買者がおり、注文が増えている。

【目標】

ほほえみ作業所では、下請け作業の会社を増やすことができ、個々の仕事の幅を広げる事ができた。
2016年度は授産製品の販路拡大を進め、利用者の工賃収入を増やすよう努める。

2) 菓子工房ほほえみ

社会参加を目的とし売上を伸ばすだけではなく、納品やバザー、訪問販売等を通して、社会とのかかわりを促した。

作業時間：月～金 9：30～15：30

場所：白石区菊水3条3丁目2-8

内容：菓子・パン製造、販売、送迎サービス、防災訓練等

取り組み

製菓・製パン作業	基本から技術を学び練習を重ねて、商品化を実現。手ごねのパン作りに拘り製造している。 今年度から新たに機械ごねも行い、パンの種類が2種類から6種類に増えた。
ミニショップ	週3日(火・水・木)午前11時～午後3時まで販売。 地域住民の来客、パンを買いに来るかたが多い。
社会への参加	売上を伸ばすだけではなく、バザーやお店への納品の仕事を通して、社会との関わりを促した。

① 菓子工房の売上推移

(単位：円) (単位：人) (単位：日)

月	ショップ 売上	その他売上	菓子工房 売上	来客数	営業 日数
4月	26,590	56,711	83,301	43	13
5月	28,785	42,247	71,032	30	11
6月	24,275	37,888	62,163	45	12
7月	18,710	53,616	72,326	52	12
8月	44,880	49,390	94,270	64	9
9月	34,295	28,629	62,924	102	9
10月	36,410	96,211	132,621	112	11
11月	27,585	66,746	94,331	59	9
12月	29,925	116,925	146,850	96	9
1月	29,075	90,036	119,111	85	11
2月	36,130	56,173	92,303	84	9
3月	35,900	97,195	133,095	90	11
合計	372,560	791,767	1,164,327	744	90

② 新しい取り組みと効果

サッポロスマイル パンの製作	12月にセンチュリーロイヤルホテルと元気ショップとのコラボで、サッポロスマイルパンの開発・製作を行った。
-------------------	--

	ホテルの料理長からのアドバイスをいただき、販売につながる事が出来た。12月3日～9日の障害者週間で228個を販売。 現在も継続して販売中。
訪問販売	8月から菊水地域の障害者・高齢者施設への訪問販売を開始。 10月からは、地域活動支援センターへの訪問販売を開始。 菓子工房の仲間も、販売を行う楽しさや買っていただく喜びを実感した。
お茶のティーバック作り・販売	元気ジョブからの依頼で、お茶のティーバック作りを始めた。 茶葉は白石区の『お茶の土倉』から仕入れている。現在は、北海道厚生局に納品とほほえみの店舗やバザーで販売を行っている。

【目標】

菓子工房ほほえみでは、販売するパンの種類を増やしたことで、売上げやミニショップでの顧客増につながった。
また、利用者の余暇活動の機会をつくり、意欲向上に努めた。
2016年度も働きやすい環境作り、売り上げ増につながるよう工夫をするとともに、社会参加の機会をつくり、働く意欲の維持に努めたい。

3) ほほえみカフェ

菓子製造・喫茶業務の仕事を通して、新たな可能性を広げられるよう就労支援を行った。

作業時間：火～土 9：30～15：30

場所：豊平区豊平3条7丁目1-1

内容：菓子・ケーキ製造、販売、接客、調理補助、清掃等

①来客数

月	人数(名)
4月	395
5月	315
6月	296
7月	384
8月	365
9月	271
10月	313
11月	308
12月	318
1月	243
2月	252
3月	334
計	3794

②部門別売上

(単位：円)

月	カフェ部門	菓子部門	計
4月	213,975	301,048	515,023
5月	174,098	210,316	384,414
6月	171,714	205,684	377,398
7月	203,931	247,508	451,439
8月	197,050	197,194	394,244
9月	184,700	170,181	354,881
10月	167,840	275,137	442,977
11月	134,760	261,415	396,175
12月	189,560	417,629	607,189
1月	123,960	332,756	456,716
2月	132,340	283,488	415,828
3月	186,032	301,112	487,144
合計	2,078,356	3,205,072	5,283,428

③ ギャラリー貸出、イベント

内容	期間	詳細・実績等
ギャラリー 無料貸出	4月	ほほえみ仲間の写真展
	5月～7月	デフフォトクラブ写真展
	8月～9月	ぶんれい一座の絵手紙展
	10月～11月	デフフォトクラブ写真展
	12月～1月	ワークショップ「実の里」様 利用者さんの絵画
	2月	ぶんれい一座の絵手紙展
	3月	デフフォトクラブ写真展
手話サロン	第3水曜日	平均参加人数5名
絵手紙教室	第1、第3 木曜日	平均参加人数4名
ハワイアンイベント	12月	参加人数23名

④ 取り組み

期間	内容
4月	貸しボックス
5月～10月	委託販売：札幌市肢体障害者協会（旭山記念公園売店）
6月	ほほえみカフェ2周年記念
6月～10月	委託販売：札幌市公園緑化協会
8月	カフェにて委託販売（レース編み・絵葉書）
10月	委託製造（シリアル）・・・（株）嬉楽
11月～	元気ショップ・いこーるでシフォンケーキ販売開始
12月～3月	豊平郵便局バザー（4～5回/月）
12月	クリスマス特別ランチとクリスマスケーキ販売 カフェにて委託販売（カレンダー）
2016年2月	バレンタインケーキ販売（ロールケーキ）
3月	ひな祭り特別メニューと菓子販売 お伊勢屋菓子販売

【目標】

ほほえみカフェでは、利用者と職員が定期的に話し合いの機会を作り、新製品の開発などを行った。また販路を拡大したことで売り上げは昨年度を上回った。2016年度は、利用者の働きやすい環境整備、お客様へのサービス向上、更なる売り上げ増を目指し取り組んでいきたい。

4) ほほえみ食堂

調理・接客業務の仕事を通して新たな可能性を広げる就労支援を行なった。

作業時間：月～金 9:30～15:00

場所：西区二十四軒2条6丁目札幌市身体障害者福祉センター内

内容：調理・接客、販売、清掃等

来客数／月合計（人）

	人	営業日数
4月	564	19
5月	469	16
6月	540	20
7月	543	20
8月	448	18
9月	516	18
10月	642	20
11月	529	17
12月	439	18
1月	463	17
2月	568	19
3月	586	20
計	5721	222

(円)

	食堂・収入
4月	251,430
5月	218,590
6月	246,250
7月	250,650
8月	212,760
9月	245,920
10月	285,170
11月	238,730
12月	202,380
1月	215,270
2月	260,890
3月	280,380
計	2,908,420

【目標】

ほほえみ食堂では、利用者と職員が定期的に話し合いの機会を作り、新メニュー等の開発、お客様へのサービスに努めた。

2016年度は、利用者の働きやすい環境整備、お客様へのサービス向上、更なる売り上げ増を目指し取り組んでいきたい。

3・共同生活援助事業（指定障害福祉サービス事業）

共同生活援助事業（外部サービス利用型）（入居数4名）

障害者総合支援法に基づく共同生活援助事業として、聴覚障害者が安心して生活できる場所の運営を行った。

①利用者数

利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数	59	59	53	57	53	50	51	51	56	54	50	53	646

・28年3月現在、男性2名入居中。引き続き2名募集中である。

②行事

防災訓練 3回

2015年 11月24日 入居者2名 職員2名 ヘルパー1名参加

2015年 12月4日 入居者2名 職員1名 ヘルパー1名参加

2016年 2月22日 入居者2名 職員2名

豊平川花火大会 7月31日

北大紅葉見物 11月3日
 クリスマス会 12月24日

③【目標】

利用者が積極的に外出計画を立て、福祉サービスを上手に活用しながら、余暇を過ごせるようになった。

2016年度は、入居者募集に努め安定した運営に繋げる。

4. 職員研修（地域活動支援センター・就労継続支援B型事業所）

月日	研修内容	担当・講師等	参加者	
			人数	対象
5月12日	札幌市給付金について	B型職員	12	B型職員
5月23日	精神疾患と就労支援	医療法人楽優会 札幌なかまの杜クリニック院長	1	B型職員
5月29日	スキルアップ研修	ワークショップ実の里	1	B型職員
6月23日 ～24日	聴覚障害者関係施設等新人職員研修	社福）京都聴覚言語障害者協会他	1	B型職員
6月25日	高齢者虐待	白石区第二地域包括センター	1	B型職員
6月26日	計画相談支援について	ワークショップ実の里	1	B型職員
7月17日	虐待について	ワークショップ実の里	1	B型職員
8月21日	「アンガーマネジメント」	ワークショップ実の里	1	B型職員
9月2日	食品衛生講習会 異物混入	札幌市保健所	2	B型職員
9月18日	障害福祉サービス「成果」とは	ワークショップ実の里	1	B型職員
10月30日	食品衛生講習会 ノロウィルス予防	札幌市保健所	3	B型職員
10月31日	職員としての心構えと利用者への対応	聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘	12	全職員
11月13日	マイナンバーの知識	ワークショップ実の里	2	B型職員
11月21日 ～22日	「負けへんで！戦後70年戦争と人生を語る」	全国ろう重複障害者施設連絡協議会	4	全職員
12月12日 ～13日	虐待の起きない環境づくり	全国ろう重複障害者施設連絡協議会	2	B型職員
1月29日	社会福祉士制度	ワークショップ実の里	1	B型職員
1月20日	食品表示セミナー	株）寺岡精工	1	B型職員
1月27日	地域共同作業所の在り方	さっされん	6	全職員
3月9日～ 10日	障害者差別解消法	北海道社会就労センター協議会	1	B型職員

5. 聴覚障害者支援センターほほえみ事業運営委員会

構成：団体等個人に運営委員を委嘱

期間：2015年4月～2016年3月（年3回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2015年4月25日	10名	3	2016年2月13日	11名
2	8月8日	11名			

時間：10：00～12：00

運営委員：

北海道高等聾学校：松山佳子教諭

北海道札幌聾学校：室山健二教頭

札幌ろう重複児・者家族会：後藤勇一会長

札幌手話サークル連絡協議会：菅原順子会長、高森美紀氏

札幌手話通訳問題研究会：山田幸雄運営委員長、佐藤薫氏

聴覚障害者支援センターほほえみ後援会：沼澤一夫会長

田村玲子事業部長

聴覚障害者支援センターほほえみ

就労継続支援B型事業所ほほえみ作業所：柏崎弘子所長

ほほえみカフェ：秋井利江店長

聴覚障害者支援センターほほえみ

地域活動支援センター所長：笹森誠二所長

(公社)札幌聴覚障害者協会：宮内博子副理事長、佐藤正昭理事

【福祉・労働部】

今年度から運営委員会の開催を年3回に変更。

運営委員会では各所長より事業報告を行なった後、質疑応答、意見交換や情報交換を行なった。

利用者の工賃アップのためにも販路拡大や新商品の開発などの課題が出た。運営委員からアドバイスをいただきながら、より良い運営を行っていく。

6. 聴覚障害者支援センターほほえみ後援会主催の街頭募金活動（参加協力）

聴覚障害者支援センターほほえみの運営を円滑にするため、後援会主催の街頭募金活動に参加協力をした。

日時：2015年6月7日（日）・9月6日（日）

場所：大通公園周辺・狸小路4丁目

【福祉・労働部】

街頭募金活動に各支部や柔道少年団体など多数の参加を頂き、協力に感謝します。

各区より参加予定者数を前もって連絡頂けたので、後援会に伝え、担当場所の振り分けを決めて頂きました。

〔課題〕

大通周辺では歩行者天国と重なり大声でお願いした為に募金活動場所の配置に苦慮しました。今後に繋がります。

II 字幕・手話付き映像作品の制作

1. 聴覚障がい者向け映像資料制作事業（札幌市委託事業）

札幌市の聴覚障害者のニーズを把握し、聴覚障害者への情報提供に資する作品を制作した。

内容：年間33本制作（内訳は以下のとおり）

1) 講座撮影・教材 6本

分類	タイトル	時間(分)
講座 (3本)	聴覚障害者支援センターほほえみのあゆみ	42
	聴覚障害者支援センターほほえみとボランティア活動	48
	ダスキン障害者リーダーを育成するヨーロッパ研修に参加して	52
教材 (3本)	ろうけつ染めに挑戦!	15
	通じる手話の工夫パート2	27
	カルチャーナイト2015 手話でも語る朗読会	49

2) ニュース 12本

タイトル	時間(分)
札幌聴覚障がい者ニュース(2015年4月号)	24
①今月の話題「ホッキョグマの赤ちゃん公開」 ②2015年度の新規札幌市手話通訳者 ③マジック教室	
札幌聴覚障がい者ニュース(2015年5月号)	24
①今月の話題「さっぽろライラックまつり」 ②新聞紙の型を使ったカステラ作り ③平成27年度手話講師育成講座開講式	
札幌聴覚障がい者ニュース(2015年6月号)	26
①今月の話題「自転車運転者講習制度がスタート」 ②コレステロールを下げる食事	
札幌聴覚障がい者ニュース(2015年7月号)	29
①今月の話題「カルチャーナイト2015」 ②第3回ほほえみ祭り	
札幌聴覚障がい者ニュース(2015年8月号)	32
①戦争体験を語る会 ②第29回はじめての手話教室修了式	
札幌聴覚障がい者ニュース(2015年9月号)	55
①ほほえみ設立10周年	
札幌聴覚障がい者ニュース(2015年10月号)	43
①第41回札幌ろうあ者文化祭典	
札幌聴覚障がい者ニュース(2015年11月号)	47
①札幌ろうあ老人クラブがボランティア清掃活動	

②第4回東区手話まつりで早瀬久美さん講演	
札幌聴覚障がい者ニュース(2015年12月号)	45
①手話言語法と手話条例制定運動 ②冬至かぼちゃ作り	
札幌聴覚障がい者ニュース(2016年1月号)	30
①札幌ろうあ老人クラブ新年会 ②鄭先華(チョン・ソンファ)さん講演	
札幌聴覚障がい者ニュース(2016年2月号)	43
①西川式子さん講演	
札幌聴覚障がい者ニュース(2016年3月号)	66
①第38回耳の日市民のつどい	

3) 自主企画制作 5本

タイトル	時間(分)
さっぽろ円山動物園～しろくまの赤ちゃんを見にいこう～	16
はじめての人でもできるパソコン講座パート1	30
はじめての人でもできるパソコン講座パート2	30
北海道あるある	13
2015年度札幌市手話動画集	78

4) インターネット配信用映像(市政に関する内容) 10本

タイトル	時間
秋元克広市長主任臨時記者会見(手話通訳つき)	10分5秒
自動車運転者講習制度が開始しました	8分23秒
毒草による食中毒に注意しましょう!	8分
自転車保険に加入しましょう	6分35秒
FAX・Eメールで119番通報ができます	11分16秒
2015年度札幌市手話講習会修了式	9分19秒
札幌市ポイ捨て等防止条例施行10周年	10分30秒
札幌市障がい者虐待相談でメール相談を開始しました	5分9秒
札幌市長メッセージ～聴覚に障がいのある方へ～	5分44秒
障害者手帳のデザインが変わりました	3分32秒

2. 「目で聴くテレビ」制作・提供

CS障害者放送統一機構「目で聴くテレビ」へ『札幌デフビデオ』(月1本)と他1本を提供。

- ・職員の長期休暇(育休)があつたが、仕事の割り振りを調整することで対応できた。
- ・インターネット配信用映像(手話動画)へのアクセス数が年々増えている。
- ・今年度は秋元市長に手話動画への出演を依頼して、市長自ら一部手話を

使った聴覚障がい者へのメッセージ動画を制作できた。

Ⅲ 字幕・手話付き映像作品及び情報機器の貸出等

1. 聴覚障がい者向け映像資料等貸出事業（札幌市委託事業）

1) 業務内容

- ①聴覚障がい者の文化享受の増進を図るために、聴覚障害者に対して、字幕または手話付き映像資料等の貸出を行なった。
- ②聴覚障がい者の利便に資する情報機器を展示し、情報機器の啓蒙・啓発を行なうとともに、機器の利用に関する相談に応じた。
- ③パソコンを聴覚障害者に対し利用開放するとともに、操作方法等の指導を行なった。
- ④聴覚障害者情報提供施設内の受付・案内業務等、聴覚障害者情報提供施設にかかわる事務を行なった。

2) 期間：2015年4月～2016年3月

3) 場所：市視聴覚障がい者情報センター2階貸出室

4) 開室時間

曜日	開室時間
月曜日	午前10時～午後5時
火曜日	午前10時～午後5時
水曜日	午前10時～午後8時45分
木曜日	午前10時～午後7時
金曜日	午前10時～午後8時30分

5) 貸出内容：

①聴力障害者情報文化センター（東京）制作ビデオ等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出・視聴本数	23	19	33	28	26	23	30	33	21	21	18	26	301
利用人数	7	24	49	8	9	68	79	42	6	18	20	5	335
利用件数	13	17	22	17	13	13	18	14	15	10	10	13	175

②札幌市委託事業で札幌協が制作したビデオ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出・視聴本数	127	122	121	89	78	104	120	159	159	99	104	153	1435
利用人数	87	67	78	28	36	284	235	170	83	97	51	221	1437
利用件数	71	82	77	53	43	62	85	100	86	60	66	84	869

③情報機器利用貸出(ビデオ、DVD閲覧、IT閲覧、CS放送閲覧、プロジェクター利用)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ビデオ閲覧	7	6	5	6	7	9	6	8	6	2	2	0	64
IT閲覧	9	9	6	7	3	4	2	5	2	0	2	8	57
CS閲覧	15	11	15	0	10	9	10	8	6	8	6	8	106

手話学習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロジェクター	19	31	32	23	22	37	49	39	18	19	15	11	315
OHC	1	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
合計	51	57	63	37	42	59	97	60	32	29	25	27	549

6) 貸出対象者：北海道内に住所を有する次の者

- ①身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障害者（児）及び保護者
- ②聴覚障がい者関係団体、学校及び施設
- ③手話通訳に係るボランティアなど聴覚障害者の福祉向上に関心がある者

2. 全国各地の聴覚障害者団体の機関紙閲覧

全国各地の聴覚障害者団体から送られてくる機関紙をビデオ・情報機器利用貸出室で自由に閲覧できるように随時、整理した。

- ・手話サークルや各施設の団体利用を増やした。
- ・「①聴力障害者情報文化センター（東京）制作ビデオ等」の実績は年々落ちてきているが、「②札幌市委託事業で札幌協が制作したビデオ」は年々増加傾向にある。

IV 聴覚障がい者社会生活教室の開催

札幌市聴覚障がい者社会生活教室開催等事業（札幌市委託事業）

聴覚障害者の生活相談及び生活支援に対応し、必要な知識の習得や情報交換を目的とし行なった。

1. 聴覚障がい者社会生活教室の開催

障害者総合支援法の「生活訓練等事業」に基づき、①職場生活②コミュニケーションの方法③家庭の生活設計④育児⑤芸術、文化等一般教養⑥人間関係等に関する内容の教室を開催した。

期間：2015年4月～2016年3月

（年間30回開催の内、協会各区支部で1回ずつ開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター他

参加対象：札幌市内存住で身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障害者

月日	テーマ	講師※敬称略	参加者
4月23日	マジック教室	山崎隆宏(マジシャン)	10名
4月25日	ヨガセラピー	豊福麻美(インド中央政府認定ヨーガ療法士)	10名
5月10日	お菓子作り教室	小畑眞理子(※聴障者)	20名
5月31日	ろうけつ染めに挑戦！	大賀千尋(札幌芸術の森・染色手織講師)	16名
6月11日	知っておこう！糖尿病のあれこれ	三浦里織(天使病院・看護師)	47名
6月14日	コレステロールを下げる食事	兼平蕙子(北海道栄養士会・副会長)	11名
7月4日	カラーセラピー講座	米澤令(カラーセラピスト)	17名

7月6日	絵手紙教室	しまぶんれい(絵手紙ぶんれい一座・座長)	9名
7月9日	相続人と相続分	坊屋敦厚(札幌法務局人権擁護部)	42名
7月19日	イスラム国	坂東和之(北海道新聞社編集本部・部次長)	20名
10月16日	ヨーロッパ研修に参加して	山本真記子(ダスキン障害者リーダー33期生)	19名
10月25日	聴覚障がい者のための手話教室	福島太郎・森恵子(札幌聴覚障害者協会)	13名
10月29日	日本語を学ぼう!	本田真里・藤野ムツ美(北海道日本語学院)	15名
11月1日	しばり染めに挑戦!	大賀千尋(札幌芸術の森・染色手織講師)	13名
11月8日	太極拳	湊谷勢智子・富家袈裟代(日本健康太極拳協会)	25名
11月22日	マイナンバー制度について	長沼秀直(札幌市総務局情報化推進部)	48名
11月26日	中国瀋陽市と聾人協会	京野大樹(札幌聴覚障害者協会職員)	45名
12月10日	放っておくとキケン!足の静脈瘤	和角彰子(天使病院・皮膚排泄ケア認定看護師)	36名
2016年 1月14日	マイナンバーって何?	工藤貴仁(札幌市総務局情報化推進部)	44名
1月20日	日本で暮らして感じる不思議な文化	鄭先華(チョン・ソンファ、韓国人聴障者)	28名
2月7日	家庭菜園	早坂政寛(雪印種苗・園芸作物研究グループ)	22名
2月13日	スープカレー	中根利絵(カレーショップエス店主)	16名
2月15日	パエリア	坂井利幸(調理師)	6名
2月27日	コーヒー	波多野和博(はたの珈琲)	10名
3月3日	韓国の祝祭日	洪性敏(ホン・ソンミン、韓国人手話通訳者)	14名
3月9日	折り紙教室	唐沢君枝(札幌フィジカルカルチャー講師)	8名
3月9日	原発・福島の実状	川原茂雄(札幌学院大学教授)	11名
3月10日	高齢者の交通安全	高野敦(札幌市交通安全担当課長)	32名
3月19日	アロマセラピー	福村由美子(AEAJ認定アロマセラピーインストラクター)	17名
3月24日	新しい手話	若浜ひろ子(日本手話研究所研究員)	7名

- ・前年度(2014年度)に比べ、年間参加者数が110名(約21%)増加した。引き続き会員の要望や意見を取り入れるなどして、参加者の増加を目指す。
- ・開催日が後半にかたまってしまったため、来年度は日程を調整しながら開催する。

V 聴能言語訓練の実施

札幌市聴能言語訓練事業の実施(市委託事業)

コミュニケーション手段に著しい障害を有する聴覚障害者に対し、その聴力の損失の程度により、残存聴力の活用、聴覚以外による言葉の習得の訓練を行ない、聴覚障害者の自立を図るとともに社会の適応を高める訓練を実施した。

期間：年間82回

場所：市視聴覚障がい者情報センター聴能言語訓練室

訓練内容：聴力測定、補聴器のフィッティング、補聴器装用訓練、発声・

発語訓練、日常生活訓練

障がい別利用者数（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
聴覚障がい	2	6	3	5	2	2	4	4	5	5	3	3	44
中途失聴	6	6	5	7	3	6	6	3	2	2	1	2	49
重複障がい	8	9	7	6	5	7	9	4	6	7	2	5	75
言語障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
失語障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	16	21	15	18	10	15	19	11	13	14	6	10	168

内容別利用者数（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内容概説	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
聴力検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
構音	0	3	1	2	0	2	2	2	1	1	1	0	15
総合練習	10	11	9	9	7	7	10	6	9	10	4	7	99
読話	3	4	1	1	2	6	6	3	2	2	1	2	33
その他	3	3	4	6	1	0	1	0	1	0	0	0	19
合計	16	21	15	18	10	15	19	11	13	14	6	10	168

対象：市内に居住する身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障害者・失語症者

- ・何年にも渡って通っている利用者があるため、利用者の目標や期間を定める。
- ・新規の利用者が増えるような仕組みを作る。

【公3】啓発・広報事業

I ろうあ者への理解促進を図る「耳の日市民のつどい」の開催

3月3日の耳の日を記念して、聴覚障害者と手話を学ぶ市民、また一般の市民の方々と手を取り合って明日への生きる喜びを分かち合い、市民に対して、ろうあ者の存在と理解を広げる啓発を目的として行なった。

耳の日事業「第38回耳の日市民のつどい」

期日：2016年3月6日（日）

会場：北海道立道民活動センター（かでの2・7）

内容：記念講演「ハンディキャップと向き合って

～ミム聾人生劇場～

講師：三室 一夫 氏

アトラクション：札幌パフォーマーズ 刹那（せつな）

マジック、ジャグリング

来場者数：381名（一般 187名、会員 183名、高校以下11名）

対象：聴覚障害者、手話サークル員、一般市民等

Ⅱ ろうあ者と健聴者の交流の場となる「札幌ろうあ者文化祭典」の開催

私たちろうあ者のコミュニケーションと文化の窓であり、ひいては社会的権利とも深い関わりを持つ「手話」を、福祉関係者・教育関係者・医療及び職場の方々など多勢の市民に理解していただき、お互いに自由に心を通わせることをめざして行なった。

1. 文化祭典事業「第41回札幌ろうあ者文化祭典」

期日：2015年10月4日（日）

会場：札幌市身体障害者福祉センター

対象：聴覚障害者、手話サークル員、手話通訳関係者、手話を学ぶ市民等

テーマ：心はひとつ!! 伝えよう私たちの手話を!!

(サブテーマ) ♪ありのまま 未来（あした）へ♪

内容：

- ・体育館が改修工事で使用不可の為、模擬店やステージなどをセンター内の各部屋へ分担して使用した。
- ・グルメコーナー（各区支部、各専門部、ほほえみ等）、フリーマーケット、デフフォトクラブ写真展、各スポーツ・文化クラブの活動紹介、各手話サークルポスター、手話教室、手話通訳体験、健康相談、書籍販売など当協会事業及び活動の紹介を行なった。
- ・ステージでは、中国瀋陽市聾人協会友好交流事業で瀋陽市に訪問した方達の報告をはじめ、各区支部等のアトラクションを披露した。ろう者劇団舞夢による「コント」で昭和時代と平成時代の電車の中のマナーについての行動が面白かった。支援センターほほえみによる寸劇「大きなかぶ」で大きなかぶを引っ張る時、多勢の人が並んでリズム感に合わせて一生懸命かぶを引っ張る動作が楽しくて大いに盛り上がった。最後にお楽しみくじを行なった。

2. 札幌ろうあ者文化祭実行委員会の開催

期間：2015年6月～10月第4火曜日（5回）

場所：市身体障害者福祉センター

回	月日	時間	内容
1	2015年6月23日	19：00～	どんな文化祭典にするか討議、役割分担、配置
2	7月28日	19：00～	テーマ決め、企画、配置
3	8月25日	19：00～	模擬店の内容、備品の扱い
4	9月29日	19：00～	役割内容確認、注意事項確認
5	10月27日	19：00～	反省会

【事業企画部】

「第41回札幌ろうあ者文化祭典」開催に向け、準備委員会を設けて各区支部及び関係団体が集まり5回協議を行なった。今年度は体育館が改修工事の為使

用不可だった為、今まで体育館で行われた模擬店とステージをどのように配置したらいいか悩んだ。準備委員会で討議した結果、模擬店は3階大会議室と1階卓球室に振り分けて設置した。ステージは大会議室の奥の方へ設置した。全体的に狭かったけど体育館とは違う雰囲気でも盛り上がりました。

「第38回耳の日市民のつどい」の記念講演は、三室一夫氏をお招きし、自分自身がLGBT（性的少数者）、ADHD（注意欠如多動性障害）、適応障害を持ちながら、アメリカ・オセアニア・ヨーロッパでの放浪を経て、ろう者劇団員を経験した事などについてお話してもらった。アトラクションは札幌パフォーマンズのパフォーマー刹那による視覚トリックを使った華麗なジャグリングやマジックを披露し会場が盛り上がった。

Ⅲ 聴覚障がい者に関する研修会等の開催

聴覚障害者の福祉増進のために必要な調査と研究を進め、聴覚障害者への理解を深める啓発活動を進めるために研修会へ参加した。

1. 聴覚障害者の福祉増進に寄与する研修会、フォーラム等の開催参加

1) 公益社団法人北海道ろうあ連盟道央ブロック研修会への参加

期日：2015年7月12日（日）

場所：千歳市社会福祉協議会

内容：午前の部：全日ろう連評議員会報告と運動の取り組み

全国ろうあ者大会研究分科会報告

午後の部：防災体験、キリンビール工場見学

2) 第16回ろう教育フォーラムin北海道への参加

期日：2015年7月26日（日）

場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター

札幌市福祉総合センター

3) 第18回ろうあ者労働問題フォーラムへの参加（主催：北ろう連）

期日：2015年9月6日（日）

場所：道立道民活動センター（かでの2.7）

内容：「聴覚障害者の差別事例について」

1. 福祉・労働問題及び今後の課題について

2. 聴覚障害者への合理的配慮について

講師：ろう弁護士 若林亮 氏

4) 2015年度公益社団法人北海道ろうあ連盟組織部・福祉部・情報コミュニケーション部合同研修会への参加

期日：2015年11月7日（土）～8日（日）

場所：道立道民活動センター（かでの2.7）

内容：「手話言語法制定の情勢（国）」と「手話条例制定（道内）後の変化と私たちの課題のポイント」

講師：公益社団法人北海道ろうあ連盟副理事長 佐藤 英治 氏

2. 第8回札幌合同研修会（札幌協・札幌研）

1) 第8回札幌合同研修会の開催

札幌協・札幌研がともに研修会を開催し、共通する課題に取り組み、今後の各団体の組織的活動に活かすことを目的として開催した。

期日：2015年11月28日（土）・11月29日（日）

会場：道民活動センター大会議室・820研修室

参加者：151名

内容

1日目：開会式

講演会「差別解消法と合理的配慮

～高松裁判から考える四国のろうあ運動の取り組み～」

講師：竹島春美氏（四国ろうあ連盟理事長）

2日目：（午前）分科会

第1 講演「手話条例、手話言語法について」

講師：佐藤英治氏（北海道ろうあ連盟副理事長）

第2 理論講座「ろうあ運動おもしろクイズ!!」

講師：太田利実氏（札幌手話通訳問題研究会副運営委員長）

（午後）分科会

第1 「情報コミュニケーションと手話言語法の違いについて

～札幌協と札幌研の意義～」ワールドカフェ方式で語り合おう。

進行：福島太郎氏（札幌協組織部長）

第2 実技講座「通じる手話の工夫 パートⅡ」

講師：高嶋裕子氏（札幌協清田区支部）

助手：太田利実氏（札幌手話通訳問題研究会副運営委員長）

閉会式

2) 札幌合同研修会実行委員会の開催

期間：2015年7月～12月

会場：市視聴覚障がい者情報センター

市身体障害者福祉センター

時間：19：00～20：00

実行委員：

札幌協：福島理事、河村理事

美馬理事、竹内職員

札幌研：運営委員

回	月日	回	月日
1	7月14日	6	11月13日
2	7月27日	7	11月25日
3	8月14日	8	12月4日
4	9月25日	9	12月11日
5	10月19日		

IV 「H S K 札幌聴障（札幌聴覚障害者協会新聞）」の発行

「H S K 札幌聴障」の発行事業

聴覚障害者のため幅広く福祉を提供するとともに聴覚障害者に対する理解と啓発を促すため、機関紙「H S K 札幌聴障」を発行した。

期間：2014年4月～2015年3月（毎月1回発行・年間12回）

発行部数：750部

対象：札幌市内の聴覚障害者会員、賛助会員、購読会員、行政、関係機関等

2015年度発行内容：以下、1面見出し（1部：10ページ）

4月号	2015年 耳の日市民のつどい 家族の夢を支えた絆の素晴らしさを語る
5月号	共生社会に向けて刻々と切り拓いていこう！ （手話に関する条例）
6月号	「組織力の成果を受け継ぎ新たな道筋を」 札幌協第5回定時社員総会を開催
7月号	手話条例制定へ向け始動
8月号	第3回ほほえみ祭り
9月号	過去を受け継ぎ現在そして未来へ （青年部設立50周年記念事業）
10月号	札幌協・瀋陽市聾人協会 友好深め30年
11月号	第41回札幌ろうあ者文化祭典 みんな集まって充実した一日に
12月号	第8回札幌合同研修会
1月号	「頌春」手話に寄せられた思い国民の総意を背景に 今年もよろしく申し上げます
2月号	札幌市 手話条例制定に向け発信！ 手話・障がい者コミュニケーション検討委員会
3月号	創刊から48年 500号達成！

【広報部】

- ・「手話言語法早期制定を求める意見書運動」や「手話条例」に関わる内容を取り上げ、啓発した。
- ・2016年3月号は創刊500号を記念して特集コーナーを作成した。
- ・新年号を除き、毎号、札幌協事業に関する情報を掲載した。随時、札幌聴覚障害者協会各区支部、専門部等の行事呼びかけや報告を掲載した。

V インターネットでの各種情報の提供

情報を随時更新して聴覚障がい者への理解を深め、札幌協の事業を広める啓発活動を独自に制作した内容でインターネットにより進めた。

1. ホームページ「さっぽろデフタウン」

2016年1月に新しいHPをメインに使い、古いHPは運営を停止した。新しいHPアドレス（<http://sapporo-deaf.jp/>）

札幌聴覚障害者協会のホームページに行事等の情報を随時掲載、更新した。

2. 札幌協情報メール

メール配信の会員に対し、情報提供のメールを随時発信した。

2015年度発信数：No. 607～649 42件

※登録者数：正会員 118名・賛助会員 47名

【収益等事業】

【収1】出版事業

手話を学ぶために必要な書籍や聴覚障害に関する書籍を販売した。

※下記に特に売り上げの多かった書籍を掲載。（2015年度売上状況）

I 小売販売		
書籍名	発行者	販売数
1) 全日本ろうあ連盟発行書籍		488冊
① 手話を学ぼう 手話で話そう		380冊
② わたしたちの手話学習辞典		64冊
③ わたしたちの手話学習辞典Ⅱ		44冊
2) 北海道ろうあ連盟発行書籍		402冊
① 2015年手話カレンダー 大		154枚
② 2015年手話カレンダー 小		234枚
③ 北海道の手話		14冊
3) その他団体等発行書籍		116冊
① 手話・言語・コミュニケーション(2)	全国手話研修センター	79冊
② 手話・言語・コミュニケーション(3)	全国手話研修センター	37冊
II 札幌聴覚障害者協会発行書籍		1,568冊
さっぽろの手話		1,218冊
さっぽろの手話(医療編)		57冊
さっぽろの手話(販売・接客編)		29冊
さっぽろの手話DVD		264枚

売上増加への取り組みとして、在庫の書籍を割引販売して在庫整理の工夫をしたり、地方で行なわれる研修会等に参加する際に、書籍販売も行った。

課題としては、手話辞典の売上が伸び悩んでいるため、初級講習会等で積極的なPRをお願いすることを検討している。さらに、仕入の数やタイトルを工夫し、仕入過多にならないよう工夫する。

札幌協独自の新しい書籍等の発行も視野に、売上増加に向けて検討する。

【収2】飲料自販手数料事業

公共施設等に飲料自動販売機を設置し、施設利用者の利便性を図るとともに、その手数料を得る事業を行なった。管理及び補充作業は清涼飲料水販売業者に委託した。自動販売機設置個所は32ヶ所。（2015年度）

	設置先	区	飲料会社		設置先	区	飲料会社
1	市身体障害者福祉センター	西	キリン・大沼・コーラ・PS	17	栄地区センター	東	キリン
2	北区体育館	北	PS	18	厚別南地区センター	厚別	ジャパン
3	東区体育館	東	大沼	19	手稲曙温水プール	手稲	キリン
4	豊平区体育館	豊平	大沼	20	もいわ地区センター	南	ジャパン
5	南区体育館	南	大沼	21	白石東地区センター	白石	ジャパン
6	西区体育館	西	キリン	22	リンケージプラザ	中央	キリン
7	清田区民センター	清田	キリン	23	星置地区センター	手稲	ジャパン
8	手稲コミュニティセンター	手稲	キリン	24	白石区役所	白石	キリン
9	市社会福祉総合センター	中央	キリン	25	清田区体育館・プール	清田	ジャパン
10	手稲区役所	手稲	キリン	26	清田区役所	清田	キリン
11	厚別区役所	厚別	大沼	27	札幌市下水道局	豊平	ジャパン
12	平岸プール	豊平	キリン	28	中島体育センター	豊平	キリン
13	中央図書館	中央	キリン	29	澄川地区センター	南	PS
14	西野地区センター	西	キリン	30	手稲区民センター	手稲	キリン
15	中央健康づくりセンター	中央	大沼	31	スポーツ交流施設(つどむ)	東	ジャパン
16	はっさむ地区センター	西	キリン	32	市視聴覚障がい者情報センター	中央	キリン・大沼

※キリン＝キリンビバレッジ、大沼＝サントリー、コーラ＝コカコーラ、PS＝PSビバレッジ、ジャパン＝ジャパンビバレッジ

リンケージの移転に伴い自動販売機を撤去したため、売り上げの減少が懸念されたが例年通りであった。

今年度はエコ自販機への切り替えが多く、今後の電気代削減につながることを期待する。（北区体育館・東区体育館・豊平体育館・南区体育館・もいわ地区センター・澄川地区センター・白石東地区センター）

【収3】さっぽろ聴覚障害者介護支援センター事業

I デイサービスほほえみ白石

〈通所介護事業及び介護予防通所介護事業（介護保険・介護予防指定事業）〉（指定開始日 2014年6月1日）

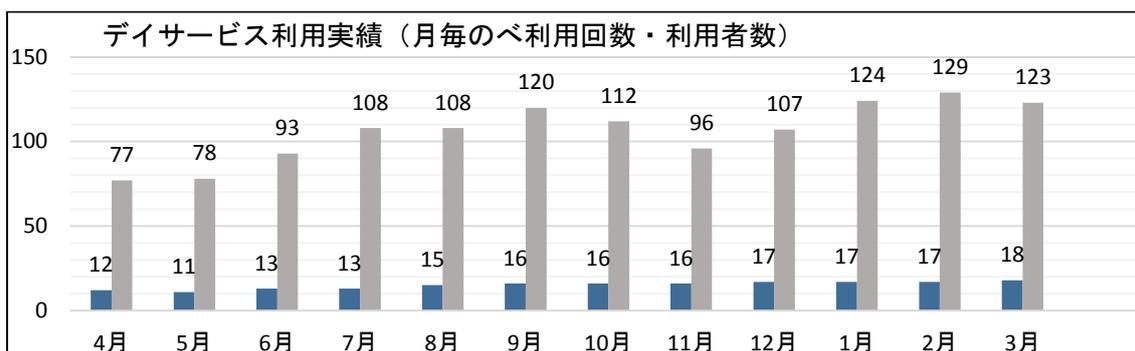
1) 事業内容

可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、ひきこもりがちな利用者の孤立感解消や心身機能の維持、家族の介護負担の軽減等を図ることを目的に、以下の支援を行った。

- ・ 自宅から施設までの送迎
- ・ 食事や入浴等の日常生活上の支援
- ・ レクリエーションや趣味活動等を通しての日常動作訓練
- ・ 生活機能向上のための機能訓練など

期間：2015年4月～2016年3月（年間）

場所：白石区菊水元町5条1丁目9-8



1) デイサービスほほえみ白石 2015年度行事

	年間	月間
4月	・避難訓練「防災学習会」 ・ミニ講座「むせるのはなぜ？」	【行事・各種活動】 ・脳トレーニング ・手作りおやつ ・手作り昼食 ・外出レク (川下公園・図書館・イオン・アリオ等) ・お誕生会 ・各種レクリエーション ・その他 【会議・研修】 ・運営会議 月一回 ・ケース検討会議 月一回 ・事業所内学習会 随時
5月	・テレビデオ班（札幌研）の訪問	
6月	・開所1周年祝い ・ミニ講座「太らない食べ方」	
7月	・七夕の製作週間 ・訪問マッサージ「原気体操」	
8月	・七夕週間（天井飾り、そうめん）	
9月	・バーベキュー ・社会見学「札幌ドーム」 ・秋の制作週間 ・札幌ろうあ老人クラブ敬老会	
10月	・ミニ講演「中国瀋陽市老人協会との交流」 ・社会見学「市民防災センター」 ・ハロウィン週間（カボチャのおやつ作り）	
11月	・漬物づくり（大根のかす漬け） ・食事会（ほほえみカフェ）	
12月	・クリスマス週間（ツリーの飾り作り） ・手作り年賀状づくり ・来年の干支作り（申）週間 ・もちつき	
1月	・お正月の書初め ・節分の制作週間（鬼のお面作り）	

2月	・豆まき&恵方巻き ・ひな祭りの制作週間（ひな人形作り）
3月	・ひな祭り（桜餅作り） ・避難訓練 ・ハンドマッサージ体験

2) 職員体制 計7名

常 勤 3名	管理者 (1)	生活相談員 (1)	介護員 (1)
非常勤 4名	介護員 (3)	機能訓練指導員 (1)	

3) 利用者の状況 (28年3月現在 ※27年度中の新規8名、解約2名)

住居区別	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西
	7	5	1	1	1	2	0	0	0	1

要介護 度別	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
	3	3	6	2	3	1	0	

4) 今年度の成果と反省

- 一年間の行事計画を作成したことで、外出・ゲームなどのレクリエーションや季節に沿った活動機会を増やすことができた。今後、個別機能訓練加算も取り入れ、さらに進んだ体力づくりや、脳のトレーニングに効果のある活動を楽しむことができる企画づくりに努める。
- 少ない職員体制で多様な業務を限られた時間内でこなさなければならない状況であるが、月2回の職員会議の中で安全対策と業務改善について話し合い、職員間で安全、安心、安定した介助を目指すという共通意識がもてた。

II ヘルパーステーションほほえみ白石

- ① 居宅介護事業（障害者総合支援法）
※指定開始日 2014年7月1日
- ② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業（介護保険・介護予防指定事業）
※指定開始日 2014年9月1日
- ③ 移動支援（札幌市地域生活支援事業）
※指定開始日 2014年10月1日
- ④ 同行援護事業（障害者総合支援法）
※指定開始日 2015年4月1日
- ⑤ 重度訪問介護事業（障害者総合支援法）
※指定開始日 2015年4月1日

期間：2015年4月～2016年3月（年間）

場所：白石区菊水元町5条1丁目9-8

1) 事業内容

利用者の意思および人格を尊重し、介護計画に基づいたサービスを実施した。具体的には、手話のできるヘルパーを派遣することで、利用者に合ったコミュニケーションを保障しながら、以下の支援を行った。

①居宅介護事業

障害のある人の自宅を訪問し、介護や家事、各種相談・助言、また通院介助や買物同行等を行い、住み慣れた地域で自立して日常生活を送ることができるよう支援する一方、家族などの介護の負担の軽減を図った。

②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

要介護・要支援状態にある人が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、利用者の自宅を訪問し、身体介護や家事援助を行なった。

③移動支援

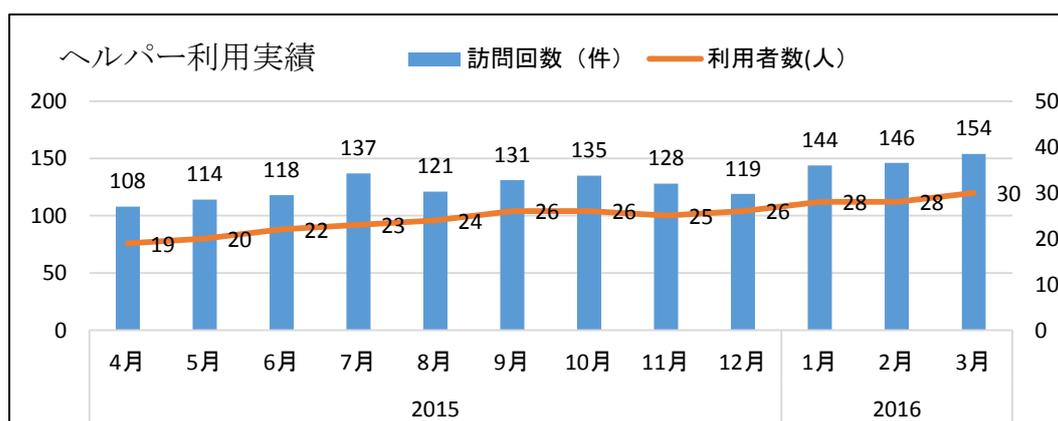
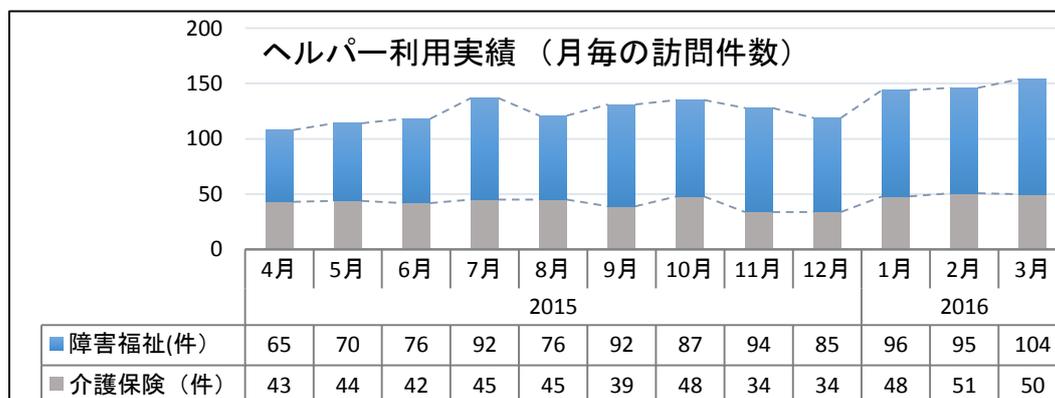
1人では外出困難な障害者（児）が、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動や社会参加のための外出時に必要な移動及び身の回りの介護等を行なった。

④同行援護事業

視覚障害者の外出に必要な情報提供（代筆・代読を含む）や身体介護、その他、通院や社会参加、余暇活動など、外出に必要な援助を行なった。

⑤重度訪問介護事業

重い障害がある人の自宅へ訪問し、居宅における身体介護や家事援助、また外出時における移動中の介護など、生活全般にわたる援助を行なった。



27年度 訪問 内訳	障害者総合支援法						介護保険法		単位 (件) 小計
	居宅介護		重度	同行 援護	移動 支援	共同 生活	要介護	要支援	
	身体 ・ 家事	通院							
4月	30	2		4	8	21	33	10	108
5月	30	1		8	13	18	30	14	114
6月	33	4		3	16	20	28	14	118
7月	39	4		14	14	21	27	18	137
8月	34	4		9	9	20	32	13	121
9月	36	2	4	10	18	22	20	19	131
10月	36	9	5	5	15	17	33	15	135
11月	33	12	4	9	14	22	19	15	128
12月	28	12	5	5	11	24	18	16	119
1月	32	16	4	11	10	23	29	19	144
2月	35	12	4	12	12	20	29	22	146
3月	36	14	4	14	12	24	32	18	154
年間 小計	402	92	30	104	152	252	330	193	1,555

2) 職員体制

常 勤 2名	管理者 (1)	サービス提供責任者 (1)
非常勤 4名	介護員 (4)	

3) 利用者の状況

住居区別 (人)	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西	計
	10	2	0	2	0	2	2	3	2	1	24

要介護度別 (人)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
		1	5	1	2	1	0	0
障害 区分別	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他	計
	0	3	3	4	0	2	3	15

4) 今年度の成果・反省

■4月から同行援護と重度訪問介護の事業を新しくスタートさせ、4名の利用者に対しサービスを提供した。個々の障害や病状などに応じた介助技術、知識経験等が必要とされ、今後も職員のスキルアップを図る必要がある。

■通院介助の派遣依頼が多く、年間約300件、一ヵ月に平均25件の通院介助を行なった。また、買物や余暇活動などの外出支援の依頼も増えてきており、ご利用者の自立支援につながる支援を行うことができた。

- 4月と9月に2名の職員が退職。5月に1名採用するが職員体制が整わず、当事業所の都合による解約が1件、応じることができなかった新規相談や依頼も数件あった。新たな利用者に対応していくために登録制をスタートし、現在は2名の登録ヘルパーが活動中。引き続き募集を行なっていく。
- 制度や介護サービス等の情報が得にくい聴覚障害利用者や家族等が在宅などで孤立することがないように、ケアマネジャーや相談員などと積極的に関わり連携強化を図った。

5) その他の取り組み

○「すずらん」(認知症を学ぶ会)

認知症に関する学習や情報交換、認知症カフェの見学など、手話で交流することができる家族会「すずらん」の月一回の運営を支援した。(計11回)

○「介護の豆知識」

ろうあ老人クラブ例会で介護に関する情報提供を行なった。(計3回)

○毎月発行するH S K札幌紙へ活動状況を掲載し、情報を発信した。(計11回)

○各事業所合同の機関紙「ほほえみだより」を発行し、ケアマネジャーなどご利用者の関係者などにも配布し情報発信を行なった。(計4回)

○職員の健康診断と特定診断を予定通り行なった。(年1回)

介護支援センター職員(計11名)の所有資格、研修内容

	介護福祉士	ヘルパー2級等	准看護師	合計
常勤	3	1	0	4
非常勤	4	2	1	7
計	7	3	1	11
その他資格	社会福祉士、手話通訳士、精神保健福祉士、全身性障害者移動介護・行動援護・同行援護従業者養成研修課程、サービス管理責任者養成研修課程、			
外部研修	<p>【主催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市 ・介護労働安定センター ・高住協 ・道社協 ・市社協 ・自立支援協会など 	<p>6/16～19 認知症介護実践研修(実践者研修)</p> <p>/25 高齢者虐待</p> <p>7/15 障害者心理と支援方法</p> <p>/23・7/30 個別支援計画事業者研修会(基礎研修)</p> <p>8/18 施設レクレーションを見直す研修会</p> <p>/20 認知症介護に関する研修</p> <p>8/26・8/27 救急法セミナー</p> <p>9/2 介護職員に求められる法律の基礎知識</p> <p>1/19 集団指導</p> <p>2/1 難病患者等ホームヘルパー養成研修</p>		

<p>内部 研修</p>	<p>【主催・場所】 ・協会 ・ヘルパーステーション ・デイサービス</p>	<p>・新任研修（職員としての心構えと利用者への対応・電話対応マニュアル・ほほえみ事業体系について） 4/17 相談苦情事故対応マニュアル /28 通所介護計画について /28 障害・認知症高齢者の日常生活自立度について 6/30 高齢者虐待 8/24 認知症について /25 介護記録の書き方 9/25 高齢者の消費者トラブル /25 強迫症障害について 10/20 モニタリングの視点 12/5 安全な入浴介助について /15 送迎介助について /18 若年性認知症の特徴 /22 リスクマネジメントの考え方 1/19 感染症対策について 2/16 事故報告の進め方 /16 地域支援事業について /24 認知症の治療方法について 3/23 高齢者のADL など</p>
------------------	--	---

Ⅲ サービス付き高齢者向け住宅事業

高齢の聴覚障害者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、聴覚障害者向けの設備を完備し、コミュニケーションの配慮が行き届く住宅を建設するため、準備を行なった。

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷（仮称）

場 所：札幌市手稲区稲穂2条7丁目5-4

介護事業：小規模多機能型居宅介護事業所併設（予定）

（設計・工事関係）

- ・2015年12月に基本設計が完了し、2016年1月6日付で建築確認済証が発行され、1月22日付で実施設計を完了した。
 - ・設計担当者とは週1回のペースで打ち合わせを行なった。
 - ・現在は施工業者等から見積を取り寄せ、検討している。
- （資金調達）
- ・住宅金融支援機構への借入申込を行なったが、自己資金不足と事業計画の見直しを指摘された。
 - ・その後、法人のメインバンクである北海道銀行、顧問税理士法人等からアドバイスを受けながら、計画見直しを行っている。
 - ・JAPANGIVINGに登録し、インターネットを利用して寄付金集めを行なっている。
 - ・2015年11月に聴覚障害者支援センターほほえみ後援会に、「ほほえみの郷建設委員会」を設立し、資金造成に取り組んでいる。

委員11名（後援会5名、札幌協理事4名、札幌協職員2名）

(補助金)

- ・平成27年度スマートウェルネス住宅等推進モデル事業（国土交通省）に、札幌市の推薦を受け、提案応募し、採用された。（提案事業名「聴覚に障害のある高齢者が安心・安全に生活する住まい環境の整備」）
- ・交付決定額（上限）は、3,826万円で、2015年度分の574万円を2016年3月29日付で受領した。

(その他)

- ・ほほえみの郷への入居に関する個別相談を実施した。（現在も随時受付）
実施数6件（本人4件、家族2件）

施設見学、会議等実施報告

月日	実施内容
2015年 4月 9日	積水ユニバーサルデザイン体感型施設見学
5月15日	OG技研移動展示トラック見学（特殊浴槽）
11月20日	ほほえみの郷建設委員会第1回打ち合わせ
12月21日	代議員向け事業説明会
2016年2月22日	ほほえみの郷建設委員会第2回打ち合わせ
3月 7日	ほほえみの郷建設委員会第3回打ち合わせ

研修等受講報告

月日	実施内容
2015年 4月24日	事例検討会参加 ※高住協主催
6月1日～3日・6日	H27年度第1回認知症対応型サービス事業開設者研修 (渋谷理事長)
6月16日～19日・24日 ・7月29日	H27年度第1回認知症介護実践研修（中村センター長） ※職場実習 6月29日～7月12日
6月20日	事業者・市民セミナー「高齢者向け住まいの現状と今後の展望」 (樋口次長) ※高住協主催
7月11日～12日	サービス付き高齢者向け住宅等事業者・管理者研修 (樋口次長) ※高住協主催
9月1日	H27年度第1回サービス付き高齢者向け住宅等虐待防止研修 (中村センター長・樋口次長) ※高住協主催
10月24日～25日 11月6日～8日	サービス付き高齢者向け住宅等生活相談員養成研修 (樋口次長) ※高住協主催
11月5日～6日	第3回認知症対応型サービス事業管理者研修 (中村センター長)
2016年3月9日～10日	第4回小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 (中村センター長)

※高住協＝一般社団法人北海道高齢者向け住宅事業者協会

IV さっぽろ聴覚障害者介護支援センター事業運営委員会

構成：団体等個人に運営委員を委嘱

期間：2015年4月～2016年3月（年間3回開催）

会場：市聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2015年6月7日	10名	3	2016年2月5日	10名
2	9月11日	11名			

時間：19：00～20：45（6/7は10：00～11：30）

運営委員：

札幌手話サークル連絡協議会：十川晃氏、宮本英行氏
 札幌手話通訳問題研究会：宮本ゆかり氏、中村雅子氏
 聴覚障害者支援センターほほえみ後援会：畠山均氏、三上山明美氏
 札幌協会理事：宮内博子・笹森誠二
 担当職員：中村千恵、小山内孝子、佐藤正昭、樋口あやこ

内容：・開催数が年4回から年3回に変更となった。

- ・センター事業（ディサービス、ヘルパーステーション）の現況報告および意見交換を行った。
- ・実施を予定している「サービス付高齢者向け住宅」事業について進捗状況および意見交換を行った。

【他1】相互扶助事業

I 支部・青年部・女性部・高齢部等における各種行事の実施

1. 支部事業

1) 専門部会議での会計部、組織部、情報・コミュニケーション部会議

開催 月1回のうち5・1月は休み。第1火曜日開催。

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	ろう協セミナー実施内容
1	10月6日	中国瀋陽市聾人協会友好交流事業報告会
2	12月1日	マイナンバー制度について

①札幌聴覚障害者協会会員数

	2015年4月1日	2016年3月31日	増減	備考
正会員	444名	434名	-10	入会9名・退会21名 ※退会理由：逝去、市外転出、自己都合、その他
賛助	70名	67名	-3	

②区別会員数

(単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外	計
正	20	88	95	42	44	31	11	20	45	38		434
賛助	9	6	6	6	3	5	2	3	12	6	9	67

③年代・性別別会員数（正会員） （単位：名）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計
男性	1	12	18	33	43	83	42	12	0	244
女性	0	12	12	27	40	54	34	10	1	190

④HSK札幌聴障購読者数（有料購読者）

	2014年4月1日	2015年4月1日	2016年3月31日	増減
市内	113名	107名	104名	-3
市外	41名	38名	40名	+2
道外	6名	3名	2名	-1
合計	167名	148名	146名	-2

⑤日本聴力障害新聞購読者数（札幌市内）

2014年4月1日	2015年3月31日	2016年3月31日	増減	※札幌協事務局での新規購読 申込受付数：22名
209名	187名	185名	-2	

⑥季刊MIMI購読者数

2014年度	2015年度	増減	※全日本ろうあ連盟への直接申込の数は 含まず
23名	23名	0	

【組織部】

①専門部会議について

年度途中で、札幌協会費の納入取り組みとして会計部と組織部が合同会議を開催、情報共有していった。これを機に、札幌協会費の納入時期も支部からの意見を集約、協議を重ねた。

②組織改革について

札幌協会費納入取り組みによる対応に時間を要した為に、運動面での組織改革、組織規則第5条による副理事長の指揮、監督の機能チェックが協議出来なかったことから今後も検討を続けていく。

2) 区支部（中央・北・東・白石・厚別・豊平・清田・南・西・手稲）が
取り組む調査・研究や学習会等の活動を支援する事業

①各区支部事業報告

区支部	行事事業名			
中央	2015年 8月9日 社会見学	11月15日 支部&手話サークル合同研修会		11月29日 忘年会
北	2015年 7月5日 ボランティア研修会	9月6日 社会見学&焼肉交流会		2016年1月10日 新年会
東	2015年6月 パークゴルフ& 野外交流会	2015年9月 フロアカーリング 交流会	2015年11月 東区手話まつり	12月 クリスマス会

白石	2015年 10月18日 ボウリング交流会		12月5日 忘年会		
厚別	2015年 5月10日 春の親睦会	7月24日～25日 厚別区民祭り	10月18日 秋の親睦会	12月12日 忘年会	7/5・2016/3/13 支部と区内サークル交流会
豊平	2015年 8月23日 札幌市民防災センター見学・体験		12月12日 忘年会		
清田	2015年 6月27日 滝野へ行こう会		12月12日 忘年会		
南	2015年 7月19日 バーベキュー交流会	12月4日 合同忘年会		12月23日 クリスマスバザー交流会	
西	2015年 12月20日 クリスマス会		2016年 1月20日～21日 温泉交流会		
手稲	2015年 7月5日 野外交流会	9月20日～21日 手稲神社祭出店	10月25日 ボウリング大会	12月13日 忘年会	2016年 3月19日～20日 新年会&休養会

2. 青年部、女性部、高齢部等の各部が取り組む調査・研究や学習会等の活動を支援する事業

1) 青年部事業

①青年部事業報告

2015年7月11日	ダベリ場「手話ゲーム・ワールドカフェ」
8月29日	設立50周年記念事業
10月25日	ダベリ場「手話」
12月5日	全青研報告会&クリスマス会
2016年2月6・7日	温泉交流会 in 洞爺湖
2月11日	三部交流会「フロアカーリング」
3月20日	定期総会

②青年部会議：月1回開催 会場：市視聴覚障がい者情報センター

2015年度より役員改選され、新しい体制でスタートしました。

今回は、8月に青年部設立50周年記念事業のため、記念誌に残すべきとなる思い出を歴代青年部長または役員に思い出の写真を借りながら記念誌に埋めていくうちに、改めて現在の役員たちにとって心に残ることができました。

それと役員をどのように伸ばしていけるのかを、いつも考えておき、役員・監査及び支部青年部長を同じ目線で見つめることを意識しながら「協調性」を図るための育成に力をいれました。

共に皆さんで仲良くしていただくだけでなく、時にはぶつけ合うことで「学ぶ」「考える」「動く」を体感出来ました。

2) 女性部事業

①女性部事業報告

2015年8月20日	第28回がん検診(がん検診センター)
10月4日	文化祭典 美味の店

11月3日	茶話会（集会報告会）
2016年2月11日	女性部&高齢部&青年部 交流会

②女性部会議：月1回開催 会場：市視聴覚障がい者情報センター

2015年度は役員改選、新役員メンバーも加わり新たな気持ちでスタートしました。例年通り滞りなく計画通りに事業進めることが出来ました。

2016年度も前年に引き続き、後継者問題、代議員の在り方、様々な課題に意見を申し合いながら活動に取り組んで行きたいと思っております。

3) 高齢部事業

①高齢部事業報告

日程	事業名	場所	参加人数
6月14日	パークゴルフ交流会	丘珠空港PG場	22名
7月22日	社会見学	月形樺戸博物館、三笠博物館	34名
8月1日	第56回全道ろうあ者大会 第7回高齢部代議員総会	稚内市総合文化センター	代議員 5名
9月2日～6日	第27回全国ろうあ高齢者大会	帯広市	
2016年2月11日	3部交流会	市身障者福祉センター	33名
2016年3月20日	高齢部総会	市視聴覚障がい者情報センター	

②高齢部役員会 会場：市視聴覚障がい者情報センター

1回	5月28日	2回	10月29日	3回	12月15日
4回	2016年1月26日	5回	2016年2月23日		

日本は、男女とも平均寿命が80歳を超える長寿社会になりました。高齢部と老人クラブの対象者が、ほぼ同じであるが、健康維持のために、食事と医療、運動の増進が必要になっているので、部とクラブ合同で研修をおこない、いつまでも健康な生活を維持できる取り組みを検討する必要性を感じています。

3. 会員慶弔福利制度事業

会員に慶弔がある時は、会員からの申請に基づき随時手続き処理をした。

<2015年度手続き件数>

(単位：件)

①結婚祝金	0	⑤銀婚祝金	0
②入学祝金	2	⑥入院見舞金	5
③長寿祝金	3	⑦災害見舞金	0
④銅婚祝金	0	⑧死亡弔慰金	0
		合計	10

4. 新年交礼会事業

新年も引き続き協力しながら聴覚障害者の福祉向上の実現に向け、心新

たに活動を続けようと親睦と交流をかねて開催した。

「2016年新年交礼会」開催

期日：2016年1月9日（土）18：30～20：00

会場：市視聴覚障がい者情報センター

会費：1,500円

参加人数：143名

II 聴覚障がい者が参加する各種クラブ活動への助成等

1. 活動助成事業（文化系・スポーツ系・福祉系他）

以下のクラブに対し、活動助成金を支給した。

クラブ名	内容	代表者	会員数
＜文化系＞ 3クラブ			
デフフォトクラブ	写真	畠山 均	13名
札幌ろうあ劇団舞夢	手話劇	斎藤 協子	6名
札幌デフ麻雀倶楽部	麻雀	今野 整	16名
＜スポーツ系＞ 9クラブ			
S.D.F.C(札幌デフフットボールクラブ)	フットボール	中 和彦	5名
S.R.B.C(札幌ろうあボウリングクラブ)	ボウリング	進藤 秀明	20名
サッポロデフバドミントンクラブ	バドミントン	石井 幹雄	18名
札幌ろうあパークゴルフクラブ	パークゴルフ	菊地 恒雄	31名
札幌男子バレーボールクラブ	バレーボール	森 良太	7名
札幌デフソフトバレーボール	ソフトバレーボール	伊藤 寿美代	7名
札幌ろうあフロアカーリングクラブ	フロアカーリング	沼澤 一夫	28名
札幌ろうあゲートボールクラブ	ゲートボール	矢部 米子	5名
札幌デフカーリングクラブ	カーリング	佐藤 喜美恵	11名
＜性別・年齢別系＞ 2クラブ			
札幌ろうあ老人クラブ	老人親睦	守屋 弘之	80名
昼間女性クラブ	女性親睦	岡村真理子	22名
＜福祉系＞ 1クラブ			
とも	高齢ろうあ者・重複障害者支援	伊勢谷小枝子	36名

2. 札幌市視聴覚障がい者文化・スポーツクラブ等助成金交付事業（札幌市）

視聴覚障がい者の社会参加を推進し、その福祉向上を図るため、札幌市内において当該障がい者が自主的に運営する非営利の文化、スポーツクラブ、サークル団体の活動に要する経費の一部を助成するものであり、クラブ代表者会議第4回定例総会において交付対象のクラブを決定した。

（年間3クラブ）

2015年度助成金交付クラブ：デフフットクラブ

札幌ろうあ劇団舞夢

フロアカーリングクラブ

3. スポーツ大会開催事業・選手派遣等

1) 全道ろうあ者夏季体育大会への競技団体参加費助成事業

「第48回全道ろうあ者夏季体育大会」

テーマ：「フルーツと潮風香る余市町 輪を広げよう 明日に向かって！」

期日：2015年6月26日（金）～28日（日） 場所：余市町

主催：公益社団法人北海道ろうあ連盟

主管：後志ろうあ協会

<種目別参加人数(札幌)> ※重複参加有 (単位：名)

種目	参加人数	種目	参加人数
ボウリング	22	フットサル	7
バドミントン	20	ソフトバレーボール	13
パークゴルフ	24	フロアカーリング	14
		合計	101

2) 全国ろうあ者体育大会への選手派遣事業

「第49回全国ろうあ者体育大会 in 京都」

期日：2015年9月17日（木）～20日（日） 場所：京都市

主催：一般財団法人全日本ろうあ連盟

主管：一般社団法人京都府聴覚障害者協会

第49回全国ろうあ者体育大会実行委員会

<種目別参加人数(札幌)> (単位：名)

種目	参加人数	種目	参加人数
ボウリング	5	サッカー	5
バドミントン	6	合計	16

4. クラブ代表者会議及び運営会議

期間：2015年4月～2016年3月（年3回会議開催）

会場：市体障害者福祉センター

対象：文化・スポーツクラブの代表者及び担当

1) クラブ代表者会議

回	月日	時間	主な内容	参加クラブ数
1	2015年4月4日	19:00～20:30	総会	10クラブ
2	2015年6月18日	19:00～20:30	広報、クラブの報告 他	9クラブ
3	2015年12月13日	14:00～16:00	クラブ助成金交付、 課題による意見交換	9クラブ

2) 運営会議

回	月日	時間	主な内容	参加人数
1	2015年5月26日	19:00～20:30	昨年度の課題確認	4名
2	2015年11月24日	19:00～20:30	課題による意見交換	2名
3	2016年3月12日	18:30～20:30	総会の準備他	5名

3) クラブ代表者会議加入クラブ（2016年3月31日現在）

①文化系 3クラブ ②スポーツ系 9クラブ

【クラブ支援部】

クラブ加入数、情報発信の課題、文化祭の展示などの課題を意見交換と各クラブからの報告について情報交換を行ないました。

Ⅲ 中国瀋陽市聾人協会との友好交流行事の実施

2015年9月18日（金）～23日（水）

札幌代表団 団長（副理事長）金原浩之

団員（理事） 佐藤正昭、福岡静枝、京野大樹

手話通訳（職員）樋口あやこ

・友好姉妹都市の瀋陽市と5年ごとの交流にあたり、2015年度は札幌聴覚障害者協会（札幌市）から瀋陽市へ5名派遣した。

瀋陽市の聴覚障害者事業の視察等を行い、互いの事業内容を紹介。札幌聴覚障害者協会の事業で手話通訳派遣事業、支援センターほほえみ等の事業を紹介し、瀋陽のメンバーは熱心に聞いて良いところを取り入れようとする姿勢を強く感じた。

5名の訪中団メンバーはそれぞれ瀋陽市聴覚障害者協会のメンバーと日本の文化や聴覚障害者のおかれた立場などを話しながら友好を深めた。

瀋陽市聴覚障害者協会は札幌市の手話通訳派遣制度に大きな関心を示していたので、5年後に瀋陽市が札幌市を訪問されたときに、瀋陽市の手話通訳派遣制度の発展につながる嬉しい報告を期待したい。

日程表

- 1日目・9月18日（金）
 - 早朝 新千歳空港発
 - 午後 中国瀋陽空港着
 - 瀋陽市聴覚障害者協会主催の歓迎宴会（ホテル）
- 2日目・9月19日（土）
 - 午前 友好交流座談会（瀋陽市身体障害者者活動センター）
 - 午後 瀋陽故宮見学
- 3日目・9月20日（日）
 - 午前 北陵見学
 - 午後 遼寧省博物館見学
- 4日目・9月21日（月）
 - 午前 第58回国際聾人祭（鉄西区文化会館）参加
 - 午後 鉄西区聾学校、鉄西区障害者活動センター見学
 - 夜 政府の広場
- 5日目・9月22日（火）
 - 午前 遼寧特殊教育師範専門学校見学
 - 午後 障害者就職センター見学
- 6日目・9月23日（水）
 - 早朝 中国瀋陽空港発
 - 夜 新千歳空港着

【法人関係事業】

- I さっぽろ夏まつり福祉協賛ビアガーデン（協力）
 - 麒麟ビール（株）のご協力のもと、夏祭り福祉協賛ビアガーデンのビール券を行政や企業、団体、各区支部、クラブ、会員等へ販売普及した。
 - 期間：2015年7月22日（水）～8月16日（日）
 - 会場：大通公園西7丁目（麒麟ビール）
 - 販売枚数：7,200枚（前年度比100%）
- II 総会・理事会・委員会・会議等の開催
 - 1. 社員総会開催
 - 「第5回定時社員総会」
 - 期日：2015年5月24日（日）9：45～14：00
 - 会場：市視聴覚障がい者情報センター 大会議室
 - 主な議題：2014年度事業報告及び決算報告、定款一部変更、規則・規程一部改正・役員選任
 - 代議員数：89名 出席：86名（内、委任4名含み）

2. 理事会開催

1) 定時理事会

回	月日	時間	出席理事	出席監事
1	2015年4月18日	19:00～20:50	13名	2名
	4月19日	9:30～16:00	13名	2名
2	5月23日	18:30～20:30	15名	2名
3	6月21日	9:30～16:45	15名	2名
4	8月30日	9:40～16:20	15名	2名
5	10月18日	9:30～16:30	16名	2名
6	12月6日	9:30～17:00	16名	2名
7	2016年2月27日	18:00～20:45	15名	1名
	2月28日	9:30～16:50	16名	2名

※会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

2) 臨時理事会

回	月日	時間	出席理事	出席監事
1	2015年5月24日	14:05～14:35	16名	2名
2	2016年2月8日	18:30～20:45	16名	2名
3	2月14日	13:05～16:00	12名	1名

※会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

*理事会出欠表は別表P69に記載

3. 三役会議

期間：2015年4月～2016年3月（月1～2回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2015年4月8日(水)	4名	7	10月14日(水)	4名
2	5月27日(水)	4名	9	11月11日(水)	4名
3	5月31日(日)	4名	10	12月24日(水)	4名
4	6月24日(水)	4名	11	2016年1月13日(水)	4名
5	6月20日(土)	4名	12	2月10日(月)	4名
6	9月9日(水)	4名	13	3月9日(水)	4名

時間：19:00～21:00

出席：渋谷理事長、金原副理事長、宮内常務理事、高嶋常務理事

内容：理事会で確認された事項の取り組みについて経過報告、次回理事会の議題、報告とする事項の確認、整理をおこなった。

4. 経営会議

期間：2015年4月～2016年3月

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2015年8月7日(金)	6名	4	2016年1月27日(水)	7名

2	9月30日(水)	7名	5	2月24日(水)	6名
3	11月24日(火)	7名	6	3月23日(水)	6名

時間：19：00～21：00

出席：渋谷理事長、金原副理事長、宮内福理事長、高嶋常務理事
 笹森誠二聴覚障害者支援センター長・渋谷梯子コミュニケーション支援課課長・中村千恵さっぽろ聴覚障害者介護支援センター

内容：派遣事業、福祉サービス事業の事項及び人事について事項の確認等を行った。

5. 三団体懇談会

構成：札幌協・札幌サ連・札幌通研

期間：2015年4月～2016年3月（月1回・第3火曜日開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2015年4月21日	8名	7	11月17日	9名
2	5月19日	9名	8	12月15日	9名
3	6月16日	9名	9	2016年1月19日	9名
4	7月21日	9名	10	2月16日	10名
5	9月15日	8名	11	3月15日	7名
6	10月20日	9名			

札幌協：金原副理事長・高嶋事務局長・福島理事・若浜理事・京野理事
 宮内副理事長・佐藤(英)理事・笹森理事・眞鍋理事（4月～5月）

札幌サ連：菅原会長・藤波・坂本・鍛冶・三木・高森・十川

札幌通研：太田・渋谷・高橋・舟橋・宮本

各団体の会員数、事業のお知らせ、活動状況報告、協力や取組みのお願いなど情報交換や日聴紙、札幌紙の購読者および手話研修センター後援会員の拡大の意見交換を行い、お互いに協力を深めている。

6. 札幌市障がい者によるまちづくりサポーター制度

1	2015年7月3日(金)18：30～
2	9月3日(木)18：30～
3	11月5日(木)18：00～
4	2016年1月21日(木)15：00～
5	3月23日(水)18：00～

場所：札幌市役所

委員：構成人数 10名

DPI北海道ブロック会議 1名

札幌市視覚障害者福祉協会 1名

サッポロペンギンクラブ（障がい者スポーツクラブ） 1名

北海道難病連 1名

札幌みんなの会 2名
 NPO法人北海道学習障害児・者親の会クローバー 1名
 特定非営利活動法人札幌市精神障害者家族連合会 1名
 障がい者あんしん相談 相談員 1名
 (公社)札幌聴覚障害者協会 河村理事

「障害者差別解消法」と「公共交通機関・移動に関する課題整理」を意見交換した。

7. 札幌市手話・障がい者コミュニケーション検討委員会
 協会から渋谷雄幸理事長を委員として選任し、派遣しています。二か月に一回のペースで会議を開催し、2017年度には、条例がスタートできるよう検討を進めています。なお、札幌研からは、太田利実委員が選任されています。詳細は札幌紙に掲載しています。

Ⅲ 人事報告

① 法人事務局
佐藤尚行(2015年7月21日～2015年8月18日育児休業)
①コミュニケーション支援グループ
<small>さとうかおる</small> 佐藤薫(2015年4月1日付採用 臨時職員(専従手話通訳者)) <small>かみがさまほ</small> 神笠真穂(2015年5月7日付採用 正職員(専従手話通訳者)) <small>くぼたあきひと</small> 久保田昭人(2015年5月31日付退職) <small>いえつねみゆき</small> 家常美由紀(2015年5月31日付退職) <small>ごとうまいこ</small> 後藤麻衣子(2015年7月1日付採用 臨時職員(事務員)) 神笠真穂(2015年8月31日付退職) 後藤麻衣子(2015年10月9日付退職) <small>やまだまりこ</small> 山田真理子(2016年1月4日付 常勤嘱託職員→非常勤嘱託職員) <small>なかしんじ</small> 那珂慎二(2016年1月4日付採用 臨時職員(事務員)) <small>なかにしとみえ</small> 中西富恵(2016年3月31日付退職) <small>さとうゆうか</small> 佐藤有香(2015年5月25日～産前後休暇・2015年8月9日～2016年3月31日育児休業)
②聴覚障害者支援センターほほえみ
<small>くどうようこ</small> 工藤蓉子(2015年2月21日～3月20日・4月25日～2016年1月31日休職) <small>さきもりせいじ</small> 笹森誠二(2015年4月1日付 常勤嘱託職員→正職員) <small>あきいりえ</small> 秋井利江(2015年4月1日付 常勤嘱託職員→正職員) <small>かしわざきひろこ</small> 柏崎弘子(2015年4月1日付 常勤嘱託職員→正職員) <small>もりけいこ</small> 森恵子(2015年4月1日付採用 非常勤嘱託職員(B型事業所職業指導員)) <small>すみまさゆき</small> 角将行(2015年4月1日付 非常勤嘱託職員→常勤嘱託職員) <small>ばんどうひとし</small> 板東均(2015年4月1日付 常勤嘱託職員→非常勤嘱託職員) <small>おおしままさひろ</small> 大島正博(2015年4月21日付 非常勤嘱託職員→常勤嘱託職員) <small>しげやゆうこ</small> 渋谷裕子(2015年7月31日付退職) <small>いわさきつよし</small> 岩崎剛(2015年9月1日付採用 非常勤嘱託職員(地域活動支援センター支援員))

<p>宮川松美 (2015年10月20日～2016年3月31日休職) 板東均 (2015年11月30日付退職) 南部真祐美 (2015年12月21日付採用 非常勤嘱託職員(B型事業所生活支援員)) 藤井時子 (2016年1月6日付採用 非常勤嘱託職員(B型事業所生活支援員)) 青山華子 (2016年1月31日付退職) 工藤蓉子 (2016年1月31日付退職) 齊藤 要 (2016年2月1日付採用 非常勤嘱託職員(グループホーム世話人)) 岩崎剛 (2016年2月1日付 非常勤嘱託職員→常勤嘱託職員) 沖田真紀子 (2016年2月15日付採用 非常勤嘱託職員(B型事業所生活支援員)) 高山真希子 (2016年3月31日付退職) 宮川松美 (2016年3月31日付退職)</p>
<p>③さっぽろ聴覚障害者介護支援センター</p>
<p>小山内孝子 (2015年4月1日付 常勤嘱託職員→正職員(ヘルパーステーションほほえみ白石)) 蝦名尚美 (2015年4月1日付 非常勤嘱託職員(デイサービスほほえみ白石)) 神文 (2015年5月1日付採用 非常勤嘱託職員(ヘルパーステーション・デイサービスほほえみ白石)) 塚本純子 (2015年6月1日付 非常勤嘱託職員→常勤嘱託職員(デイサービスほほえみ白石)) 柳谷由香里 (2015年9月4日付採用 非常勤嘱託職員(デイサービスほほえみ白石)) 川本通子 (2015年9月30日付退職)</p>

※職員体制について (62名 2016年4月1日現在)

① 法人事務局 (手話普及事業・情報支援事業)

事務局長1名、法人事務局次長2名、職員8名 (正4名、常勤嘱託3名、非常勤嘱託4名)、聴能言語訓練指導員(非常勤契約) 1名

② コミュニケーション支援課 (手話通訳派遣事業係 (医療手話通訳者派遣事業含む)、養成事業係)

課長1名、係長1名、職員18名 (正5名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託6名、臨時7名)

③ 聴覚障害者支援センターほほえみ

・聴覚障害者地域活動支援センター (ほほえみ厚別・西)
 センター長・所長(兼務)1名、職員5名 (正職員1名、常勤嘱託3名、非常勤嘱託1名、臨時1名)

・ほほえみ作業所 (就労継続支援B型事業 (ほほえみ作業所)、グループホームよつば・ひこうき雲)

所長1名、職員7名 (正職員1名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託5名)

・ほほえみカフェ (就労継続支援B型事業 (ほほえみカフェ、菓子工房ほほえみ、ほほえみ食堂)

店長1名、職員8名 (正職員1名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託5名、臨時1名)

④ さっぽろ聴覚障害者介護支援センター

・介護支援センターほほえみ白石 (デイサービスほほえみ白石・ヘルパーステーションほほえみ白石)

センター長1名、職員10名 (正職員2名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託5名、登録2名)

別表【理事会出欠表】

役職	氏名	1		2	3	4	5	6	7		臨時	臨時	臨時
		4/18	4/15	5/23	6/21	8/30	10/18	12/6	2/27	2/28	5/24	2/8	2/14
理事	渋谷 雄幸	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	金原 浩之	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	宮内 博子	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	高嶋 正博				出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	福島 太郎	出	出	出	出	※出	出	出	欠	※出	出	出	出
理事	笹森 誠二	出	欠	出	※出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	若浜ひろ子				出	出	出	出	出	出	出	出	欠
理事	中 和彦				出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	河村 明子	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	京野 大樹				出	出	出	出	出	出	出	出	欠
理事	森 恵子	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	欠
理事	福岡 静枝	出	出	出	欠	出	出	出	出	出	出	出	欠
理事	佐藤 英治	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	佐藤 正昭	出	出	出	出	出	出	出	※出	出	出	出	出
理事	野口 和伸				出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	美馬 伸隆				※出	欠	出	出	出	出	出	出	欠
理事	中根みどり	出	出	出									
理事	鎌田 高昭	出	※出	出									
理事	眞鍋 秀之	出	出	出									
理事	沼澤 一夫	欠	出	出									
監事	佐藤いさ子	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
監事	福島 紫				※出	出	出	出	欠	※出	出	出	欠
監事	吉田 千草	出	出	出									
事務局長	高嶋正博	出	出	出									

出：出席・欠：欠席・※の印は遅参・早退